

第五十回帝國議會
衆議院

治安維持法案(政府提出)委員會會議錄(速記)第七回

會議

大正十四年三月六日(金曜日)午前九時

二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 前田 米藏君

理事 廣瀬 德藏君

理事 土屋 興君

理事 吉田 眞策君

理事 本田 義成君

理事 板野 友造君

田中 善立君

清水留三郎君

山樺 儀重君

中村啓次郎君

禰 苗代君

前田房之助君

青木 精一君

山崎達之輔君

同月五日委員森田政義君辭任ニ付其ノ補闕トシテ原夫次郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

內務大臣 若槻禮次郎君

司法大臣 小川 平吉君

出席政府委員左ノ如シ

內務政務次官 片岡 直温君

內務省警保局長 川崎 卓吉君

司法政務次官 熊谷 直太君

司法省刑事局長 山岡萬之助君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

治安維持法案(政府提出)

○前田委員長 只今ヨリ治安維持法案ノ委員會ヲ開キマス

○若槻國務大臣 御質問ノ前ニ一寸一言申上ゲタイノデアリマスガ、去ル三日本委員會第三回ノ委員會ノ席上デ、川崎政府委員カラ説明ヲ申上ゲタ中ニ、內務省ハ各方面カラ色々ナ情報ヲ受ケテ居リマスノデ、其情報ヲ受ケテ

居ル事ヲ申シテ、最後ニ警保局長ノ幾ラカソレニ對スル判斷ヲ申述ベタヤウデアリマスガ、其警保局長ノ見ル所トハ私ハ少シク見ル所ヲ異ニ致シテ居ルノデアリマスカラ、其警保局長ノ當時ノ説明ハ總テ私ハ取消スヤウニ致シタ

イト思ヒマス、是ダケノ事ヲ申上ゲテ置キマス

○清瀨委員 今ノハ警保局長ガ治安維持法反對ノ運動ハ、豫テ情報ヲ受ケテ居ル露西亞方面カラノ運動ガ影響シテ居ルト思フト言ハレタ、其點ニ關スル事デスナ

○若槻國務大臣 左様デゴザイマス

○清瀨委員 了承致シマシタ

○前田委員長 中村啓次郎君

○中村(啓)委員 本會議ニ於キマシテハ、內務大臣ガ我國ノ政體ハ常識デ判斷シテチャント極ッテ居ル、立憲政體デ

アル、代議政體デアルト申サレタ程、常識デ判斷シテチャント極マッテ居ッタヤウニ思ハレテ居リマシタ筈ノ其政體ノ解釋ガ、當委員會ニ於キマシテハ玄人ノ寄合デアアル、又玄人同志ノ議論デ既ニチャント定マッテ居ッタ筈ノ政體、今度ハ極メテ怪シクナッタノデアリマス、玄人ノ寄合ニ於テ動物ト植物トノ區別ガ付カクナリマシタヤウナ形デアリマシテ、其玄人ノ議論ヲ上下致シマシタ其速記ガ、矢張新聞等ニ依ッテ報道サレテ居ルガ、私共ノ常識デ考ヘテ居ル所ハ、日本ノ政體ハ斯ウデアラウト思ッテ居リマシタノヲソレヲ裏切り、多少ノ不安ヲ感ゼシメタヤウナ點ガアリハシナイカ、一二ノ例ヲ申上ゲマスト云フト、我政體ニ於テハ何ト致シマシテモ三權ガ分立致シテ居ルノデアリマス、即チ立法、裁判權、行政權ガ分立致シテ居リマス、此場合ニ天皇ノ大權即チ法律ノ裁可權、或ハ條約ノ締結權、宣戰、講和、議會ノ解散權、陸海軍ノ統帥權ト云フヤウナ此大權ヲ、悉ク之ヲ否定シタ場合ニハ、我政體ノ變革ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

ト云フコトニナリマス

主政體ト申サレテ居ルガ、君主ノ御立場ハ日本ノ憲法及ビ憲法ノ出來ナイ場合ニ於キマシテモ、君主即チ國家、天子即チ國家デアル、故ニ此統治權ノ所在、天皇ノ所在ハ即チ國體デアル、併ナガラ此天皇ノ大權ハ統治權ノ活動スル、統治組織ノ中ニ日本ノ憲法ハ入ッデ、即チ君主ハ或ハ立法協賛ニ對シテハ、裁可ヲスル、或ハ大權ハ各方面ニ於テ活動致シテ居リマス、ノミナラズ憲法上ノ所謂大權政治ト學者ガ申シテ居リマス、其他ニ於キマシテモ或ハ天皇ノ御名ニ依ッテ裁判ヲ行ヒ、總テ政治ノ運用ノ上ニ君主ヲ離レテ行フト云フコトハ無イヤウニ思ハレマス、統治ノ形式ノ上ニ於キマシテ三權ガ分立致シテモ、其統制ノ中心勢力ハ常ニ天皇デアル、故ニ政體ヲ論ズルニ當リマシテモ君主立憲政體、若クハ立憲君主政體ト解釋スル方ガ穩デハアルマイカ、唯、統治權ノ所在、即チ政治的ノ靜ナ場合バカリガ君主ノ立憲デハアリマセヌ、日本ノ萬世一系ノ天皇ノ統治シ給フ國柄トシテ、其靜的ノ方面ニノミ君主國デアルコトノ觀念ヲ致シマシテ、此統治權ノ即チ統治組織ノ運用ノ方ニ於キマシテハ、君主ノミヲ省イテ居ルト云フヤウナ形ガ見エマスシ、委員會ニ於テモ左様ナ議論ガ行ハレテ居ッタヤウデアリマスガ、此點ニ付キマシテ茲ニ明快ナル御答ヲ戴イテ置クコトガ、私共所謂內務大臣ノチャント極ッテ居ル日本ノ

政體ト云フコトヲ、簡單明瞭ニ言ヒ現ハス上ニ於テ甚ダ有益デアルト思フ、ソレカラ此御答辯ヲ得マシタ後ニ、是モ御答辯ガアツタコトデアリマスケレドモ、念ノ爲ニ承ツテ置キマスガ、國務大臣ハ何人ニ對シテ責任ヲ負フカ、殆ド分リ切ツテ居ルヤウナコトデアリマスケレドモ、是モ或ハ議會ニ責任ヲ負フト云フコトナラソレデ宜シイ、我帝國民トシテハ天皇ニ對シテ責任ヲ負フコト、考ヘテ居リマスガ、其點ニ對スル御答辯ヲ願ヒマス、ソレカラ是モ殆ド伺フコトガドウデアラウカト思フコトデアリマスガ、我國ニ於キマシテハ主權ハ何ニアルカ、此點ヲ伺ヒタイ、過日來政府ノ當局ト委員トノ間ノ質問應答ノ中ニ、議會ヲ通シテナラバ男ヲ女ニシ、女ヲ男トスル以外ノコトハ何事モ出來ルヤウナ御言葉ヲ屢、拜聽シタノデアリマス、是ハ議會ヲ通シテナラバ何事モ出來ル、恐クハ議會ゲケデハ我帝國ノ議會ハ立法ノ協賛權、豫算ノ議定權アルノミデアリマシテ、其立法ノ完成ハ裁可ヲ以テ始メテ成立スル、唯、協賛權アツテ立法ノ總テノ權能ノアル譯デハナイ、故ニ議會ノ行動ニ依ツテ政治ノ變更ハ出來ナイダケデアツテ、アト悉ク出來ルト云フ解釋ハ動モスルト民主政體ノヤウナ嫌モアルノデアリマス、此點ニ付キマシテモ分リ切ツタヤウナコトデアリマスガ、日本ノ政體ヲ以テマシテ議會萬能、即チ議會ニ於テハ

何事モ出來ルヤウナ主權ガ天皇ニアル
ノデアルカ、或ハ人民ニアルノデアル
カ、何處ニアルノデアルカト云フヤウ
ナ點ヲ疑ハシムルヤウナ嫌ガナイカト
思ヒマスカラ、之ヲ伺ッテ置キタイ、ソ
レカラ今一ツ伺ヒタイコトハ、此法案
ニ於キマシテモ矢張國體ヲ變革スルト
云フ、此變革ノ文字ヲ御用キニナルコ
ト、思ヒマスガ、是マデ政府當局ノ解
釋ニ依リマスト云フト、變革ト云フ二
字ニ依リマシテ政體ノ變革ヲ論ジマス
ニ當リマシテ、此變革ト云フ二字ハ政體
ノ根本義ヲ説明スルノデアル、故ニ變
革ト云フ字ヲ使ッテ居リマスカラ、政體
ノ根幹ヲ變革スルコトデアル、斯様ニ
屢、申サレテ居ル、私共甚ダ寡聞デアリ
マスケレドモ、法律ノ各條ニ於キマシ
テモ手段ヲ以テ目的ヲ現ハス、目的物
ヲ制限シタリ擴張シタリスルヤウナ解
釋ハ、實ハ奇怪ニ考ヘルノデアリマス、
ソレデ變革スル、或ハ變更スル、詰リ國
體トカ、或ハ政體トカ、其目的物ヲ變更
シ變革スル一種ノ手段ニ過ギナイ、然
ルニ手段デアアル變革ノ二字ヲ以チマシ
テ此變革ト云フ字ヲ使ッタノデアリマ
スカラ、目的物ハ變ルノデ、其目的ハ或
ハ狹義ニ解釋スル、或ハ之ヲ廣義ニ解
釋スル、政體ノ中ノ大權行爲、或ニ裁判
制度ヲ變更スル、ソレハ政體ノ變更ニ
ナルケレドモ變革ニハナラヌ、何トナ
レバソレハ根幹ニ觸レナイカラデア
ル、此變革ノ二字デ目的物ヲ制限シタ

ク、擴張シタリスル解釋ヲ加ヘラレテ
居ルノデアリマス、サウ致シマスト國
體ヲ變革スルト云フ二字ヲ用キマシタ
爲ニ、國體ノ觀念ノ上ニ國體觀念ノ制
限ヲ爲シタリ、或ハ擴張ヲ爲シタリス
ルヤウナ恐ガアルト思フノデアリマ
ス、ソレデ變革ノ二字ヲ用キタル爲ニ、
單ニ變革ト云フコトハ變更デアル、而
モソレハ革命的ニ變更スル狀態ノ意味
ヲ言フノミデアル、之ニ依ッテ政體ナリ
或ハ國體ナリヲ制限シタリ、擴張シタ
リスルヤウナ意味デアルカナイカ、此
點モ御尋ネ致シテ置キタイ、先ヅ右様
ノ點ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○若槻國務大臣 私ノ議場ニ於ケル說
明ノ言葉ガ、或時ハ立憲政體ト言ッタ
リ、立憲君主政體ト言ッタリ、又代議政
體ト言ッタリ、色々違ッテ居ル、司法大臣
ハ常ニ立憲君主政體ト言ハレタケレド
モ、私ノ述べタ所ノモノガ色々ニナッテ
居ルカラ、其政體ト云フ意味ガハッキ
リセスト云フニヤウニ御考ニナッタヤ
ウデアリマスガ、御質問中ニモアリマ
シタ如ク、日本帝國ハ萬世一系ノ天
皇ノ統治シ給フ所ノ國柄デアリマス
カラ、君主國デアルト云フコトハソ
レデモウ決ッテ居ルノデアリマス、其以
上ニ立憲政體トカ、或ハ代議政體ト言
フノハ、即チ君主ノ下ニ於テ議會ガア
テ、之ニ依ッテ國政ヲ議セラル、政體ト
云フ意味デ私ハ申述べタノデアリマ
ス、言葉ハ或時ハ代議政體ト申シタリ、
立憲政體ト申シタリシテモ、畢竟君主

國ニシテ代議政體立憲政體ト云フ意味
デアリマシテ、即チ司法大臣ノ述ベラ
レタ立憲君主政體ト云フコト、何等變
ルコトハナイノデアリマス、ソレカラ
政體ト云フコトヲ私ハ君主國ニシテ民
選議員ノアル政體デアルト云フヤウニ
言ッテ居ルケレドモ、此議場ニ於テハ色
色憲法ニ定メテアル政治運用ノ色ミ
方法、ソレガ皆政體ニ關係スルト云フ
ヤウナ議論モ出テ居ル、私ガ申述ベル
ソレガ爲ニ政體ト云フ文字ノ意味ノ範
圍ガ色ミ分レテ居ルヤウニ思フカト云
フコトニ付テノ御質問デアリマシタ、
私ハ此法律案ニ於ケル政體ト云フノ
ハ、ホンノ世間普通ニ唱ヘテ居ル政體
ト云フ意味デ、或ハ君主獨裁ノ政體ト
カ、君主立憲政體トカ色ミアルヤウナ、
サウ云フ意味デ、政體ト云フ意味デ、例
ヘバ行政訴訟ハ行政裁判所デ判決スル
ト云フヤウナコトニナッテ居ルト云ヘ
バ、行政訴訟ハ行政裁判所デ判決スル
ト云フコトマデガ、政體ノ相違ヲ惹起
スモノデアルト私ハ思ッテ居ナイノデ
アリマス、併ナガラ本委員會ニ於テハ
ソレモ矢張關係スルノデアルト云フヤ
ウナ御解釋ガアルサウデアリマスガ、
私ハサウ云フ意味ヲ持タズニ、政體ト
云フ文字ヲ解釋シテ居ル、本案提出
ノ時ニハ意見ヲ決メテ居ッタノデアリマ
スカラ、私ノ申上ゲル政體ト云フノハ
議會ナリ、委員會デ申上ゲタヤウナ意

味デ政體ト云フコトヲ言ッテ居ッタノデ
アリマス、而シテ其言葉ニハ立憲政體
ト言ッたり、或ハ代議政體ト言ッたりシ
テ、君主ト云フコトガ付イテ居ナカッタ
爲ニ、或ハ立憲君主政體ト云フ、其君主
ト云フ意味ガ考ヘラレテ居ラナイヤウ
ナ風ニ御考ニナッタカモ知レマセヌガ、
ソレガ大體ノ日本ノ國體ガ前申上ゲル
通りノ國體デアリマスカラ、其國體ニ
於ケル代議政體トカ、立憲政體ト云ヘ
バ當然立憲君主政體、立憲代議政體ト
云フ意味デアルト私ハ解釋シテ、サウ
云フ言葉ヲ使ヒマシタ、併シ種々ナル
言葉ヲ使フタコトガ惑ヒヲ起シタ元デ
アルナラバ、改メテ申上ゲマスガ、其處
ニ書イテアル政體ト云フノハ立憲君主
政體デ、司法大臣ノ述ベラレタト同ジ
意味ニ私モ解釋シテ居ルノデアリマ
ス、ソレカラ御問ノ中ニ一體主權ハ何
處ニ在ルト思フカト云フ御問デアリマ
シタガ、是ハモウ統治權ノ所在ハ即チ
主權ニアルノデ、我國ニ於テハ天皇陛下
ニ於テ主權ヲ御握リニナッテ居ルト申
上ゲルノ他別ニ申上ゲルコトハアリマ
セヌ、ソレカラ委員會ニ於テハ女ヲ男
ニスルコトノ以外ハ何事デモ議會ハ出
來ルト云フ議論ガアッタト云フノデ、ソ
レニ付テノ御尋デアリマスガ、是ハ委
員會ニ於テサウ云フ御議論ガアッタカ
ドウカ、私他ノ法律案ヤ豫算ノ關係デ
委員會ニ終始出テ居リマセヌノデ、能
ク存ジマセヌガ、其御議論ハ一體能ク

女ヲ男ニ變ヘルコトノ外何デモ出來ル
ト云フヤウナコトハ、世間デモ能ク形
容シテ言フコトデアリマスカラ、其議
論ヲ御述ベニナッタコトモホンノ形容
デアッタノカ、或ハ形容デナクシテソレ
ニ何カ意味ヲ持タセテ御述ベニナッタ
ノカ、能ク存ジマセヌ、ソレ故ニ其言葉
ニ付テ私彼是申スコトハ出來マセヌ
ガ、議會モ憲法ニ依ッテ、憲法ノ下ニ於テ
帝國議會ト云フモノハ存シテ居ルノデ
アルカラ、帝國議會ノ權限ハ總テ憲法
ニ定ムル所ニ依ッテ爲サルノ外ハアル
マイト思ヒマス、憲法デ許サレタ範圍
ノコトハ固ヨリ出來ルノデアアル、憲法
ノ認メテ居ナイコトハ議會ト雖モ之ヲ
爲サル譯ニ行クマイト思フ、其詳細ナ
ルコトハ、法理論ノ如キコトハ私此處
ニ申上ゲル場合デモナケレバ、又私ガ
申上ゲタ所ガ格別何等ノコトモアルマ
イト存ジマスカラ、其解釋ハ學者ニ任
セルト致シマシテ、私ハ帝國議會ハ即
チ憲法ノ下ニ於テ存シテ居ル其機關デ
アリマスカラ、憲法ノ認メタ權限ニ依ッ
テ總テノコトハ行動シナケレバナラヌ
ト思ッテ居ルノデアリマス、國務大臣ノ
輔弼ト云フノハ、國務大臣ノ責任ト云
フノハ何ニ對シテ之ヲ負フカ、是ハ陛
下ニ對シテ負フモノト思ッテ居ルノデ
アリマス、併シ議會ニ於テ指揮ヲセラ
ル、ヤウナ政治ヲヤッテ居ルト云フヤ
ウナコトニナリマスレバ、ソレハ陛下
ニ對シテ申譯ガナイノデアリマスカ

ラ、ソレニ付テ陛下ニ對シテ責任ヲ負
フノデアリマスカラ、其事ガ形ノ上ニ
於テハ議會ニ於テ信任ヲ失ッタ時ニ、其
結果デ責任ヲ取ルヤウニ見エルカモ知
レマセヌガ、責任ヲ取ルノハ陛下ニ對
シテ責任ヲ取リマスノデ、陛下ニ對シ
テ議會ニ於テ信用ヲ失フト云フヤ
ウナ政治ヲシテ居ルト云フコトデハ申
譯ナイト云フノデ、責任ヲ負フト云フ
コトニ相成ルノデアアラウト思ヒマス
○中村(啓)委員 只今ノ御説明ニ依ッ
テ大體諒解致シマシタガ、內務大臣ノ
ハ此法律案ノ取締ラントスル政體ノ解
釋ト致シテ、此法律案ヲ以テ取締ラン
トスル所ノ政體ハ代議政體ノ變革デア
ル、サウデナシニ政體其モノト致シテ天
皇ノ大權ヲ全部ヲ廢スル、或ハ裁判制
度ヲ見ナイ、斯ノ如キコトヲ協議致シ
タリ、實行致シタリスルト云フコトハ、
政體ノ根幹ヲ變革スルモノト認メルノ
デアリマスカドウデアリマスガ、アナ
タノ取締ラント欲スル政體ハ、アナタ
ノ御考ニ依ルト云フ代議政體ノ變革ヲ
企ルモノヲ取締ラントスル、サウ云フ
取締ラントスル點ハ我が帝國ノ政體ニ
シテ、即チ立憲政體デアリマスカラ、矢
張大權、裁判制度、立法制度、此三ツノ
點ガ立憲政體ヲ爲シテ居ルノデ、是ガ
所謂日本ノ統治組織ノ根本デアラウト
思フ、此兩者ヲ根本的ニ、大權ノ一ツヤ
二ツデナシニ、大權ノ全部ヲ取ッテシマ
フ、或ハ裁判制度ヲ見ナイ、サウ云フコ

トニナツテモ我が帝國ノ立憲政體ヲ根本的ニ變革セザルモノト御認メデアリマスカドウカヲ御尋ネ致シマス

○若槻國務大臣 先刻御答ヲ致シマシタヤウニ、私ノ解釋ハ極ク世俗ノ通説ノヤウナモノヲ取ツテ解釋シタノデアリマス、世俗ニ政體ト云フト獨裁政治トカ專制政體トカ、或ハ立憲政體トカ云フヤウナ區別ヲ致シマスノデ、ソレヲ取ツテ矢張其政體ト云フ意味デアラウト終始考ヘテ居ルノデアリマス、ソレガ爲ニ今日日本ノ政體ハ立憲君主政體デアリマスカラ、又立憲君主政體ト云フノハ民選議會ニ依ツテ立法スル、君主國ノ狀態ヲ指スモノト私ハ心得テ居リマス、唯今御質問ノ三權分立シテ居ルコトガ立憲政體デアルカラ、其三權ノ一ツヲドウニカスルヤウニナツタナラバ、政體ニ關係スルヤ否ヤト云フ御質問ト思ヒマスガ、私ハ初カラ一般世俗ノ言フ通り、民選議員ヲ以テ立法スル政體ノ國ガ、即チ立憲君主國ダト思ツテ居リマス、ソレニハ大抵三權ガ分立シテ居ルノガ常態デアリマス、併ナガラ英吉利ノ如ク上院デ司法權迄行ッテ居ル所モアリマス、ソレデアリマスカラドウモソレガアル故ニ、直ニ立憲君主政體ヲ妨ゲルトモ思ヒマセヌ、先ヅ通説デ言ヘバ民選議員ヲ以テヤツテ居ル、日本ニ於テモ今日議會ヲ開カレテ、ソレニ依ツテ立法權ヲ行ッテ居ル、是ガ即チ日本ノ立憲君主政體デアルト思

ヒマス、此議會否認ト云フコトヲヤルコトヲ取締ラントスルノガ、此法律案ノ目的デアリマス

○中村(啓)委員 此法律案ノ取締ラントスル目的ヲ伺ツテ居ルノデナイ、アナタノ御認メニナツテ居ル日本ノ政體ハ立憲君主政體デアツテ、立憲君主政體ト云フ意義カラ申シテル、天皇ノ大權ヲ全部廢スルト云フコトハ、政體ノ變革デアラウト思ヒマス、ソレニ對スルンレハ日本ノ立憲政體ノ變革ト云フコトニナルト思ヒマスガ……

○若槻國務大臣 天皇ノ大權ノ變革、例ヘバ條約ノ批准ハ天皇ノ大權デアツテ、ソレヲ例ヘバ條約ノ批准ハ議會ノ協賛ヲ經テ批准スルト云フコトニナツタナラバ、政體ノ變更ニナルカト云フ意味ニ於テノ御尋デアリマスガ……

○中村(啓)委員 全部デアリマス

○若槻國務大臣 大權全部ヲ取ツテ仕舞フト云フノデアリマスガ、私ハ天皇ガ統治權ヲ御持チニナツテ居ラレルノデアリマスカラ、天皇ノ大權全部ヲ取ルト云フヤウナコトハ政體ドコロデナイ、國體ニ關係スルト思ヒマス

○中村(啓)委員 政體ノ方面ニ於ケル憲法三條以下、三條迄ハ國體ニ付テ、此統治權ノ効用方面、ソレハ議會ハカリデナイ、天皇ハ所謂唯今國務大臣ニ付テ述べマシタガ、之ヲ議會ヲ廢メ、或ハ裁判所ヲ廢メテ、今日ノ裁判デナイ、行政官ヲ以テ唯今ノ裁判制度ニ代ヘルト

云フコトニナリマシタ場合——其裁判制度ノ方ハ除キマシテ、統治權ノ大部分、或ハ裁判權、或ハ大臣ノ責任ヲ負フ、或ハ條約ノ締結、或ハ陸海軍ノ統帥權、ソレ等ハ統治ノ中心統裁權デアアル、大權ヲ他ニ移ス、斯ウ云フ場合デアリマス、憲法上ニ定メラレテ居ル大權行爲ヲ廢スル、斯ウ云フ場合ガアル、殆ド全部若クハ大部分ヲ其効用ヲ廢シテ、政體案革ト云フ……

○小川國務大臣 其事ハ先達清瀨君ノ御問ノ時ニ極テ明ニ御答シタ積リデアリマスガ、中村君ハ御留守デアリマシタカラ、私カラ一應御答致シマス、ソレデ若シ御不満足ナラバ又内務大臣カラ御答致シマス、天皇ノ大權其モノニ手ヲ觸レルコトハ國體ノ變更ニナル、即チ今御話ノ天皇ノ大權ヲ外ニ移ストカ、取ルト云フ意味ノ御話ガゴザイマシテ、是ハ無論國體ノ變革ニナル、大權其モノニ觸レルコトハ——併ナガラ大權ヲ行使セラレル方法ニ至ツテハ、色々ノ機關ヲ設ケテ大權ヲ行使サレルノデアリマスカラ、或ハ議會ノ協賛スル其立法權ヲ行ハセラレ、或ハ行政權ヲ行ハセラレル、裁判所デ裁判ヲ行フ、或ハ又宣戰ノ大權ヲ行使セラレルニ付テモ、元帥府等ニ御下問ニナルコトモアリマセウ、或ハ樞密院ニ御諮詢ニナリ、大權ヲ行使セラレル方法ノ事柄ハ時ノ宜キニ從ツテ色々ニ變更スルコトガ出來マセウ、詰リ其方法、或ハ機關、大權

行使ニ關スル色々ノ機關ヲ變革スルト云フコトハ、憲法竝ニ法律ノ許ス條章ニ從ツテ之ヲ變ヘルコトハ一向差支ナイ、併シソレハ大權行使ノ方法ニ屬スルノデ、大權其モノニ塵埃タリトモ是ニ手ヲ觸レルト云フコトハ、國體ノ變更ナリト云フコトハ極テ明白デアリマス、左様ニ御答致シマシタ

○中村(啓)委員 諒解致シマシタ、此場合尙ホ御尋致シマスガ、只今御提案ニナツテ居ル治安維持法ニ依ツテ取締ラント欲スル對照デアリマスガ、詰リ此法律案ヲ以テ主トシテ無政府主義、或ハ共產主義ヲ取締ラントスルコトガ眼目デアリマスガ

○若槻國務大臣 大體ハ左様デアリマス

○中村(啓)委員 此法案ヨリ政體ニ關スル事項ヲ削除シテ、只今大臣ノ御答辯ニナツタル無政府主義、若クハ共產主義ヲ對照トシテ組立テラレタル法案デアルナラバ、政體ノ二字ヲ削ツテモ小川法相カラ答辯セラレマシタガ、日本ノ國體ノ意義ヲ説明シ、又其次ニ私有財產制度ニ關スル點ヲ以テ維持スレバ、政體ノ二字ヲ取リマシテモ尙ホ公益ヲ擁護スルニ足ルト考ヘマスガ、政府ノ御考ハドウデゴザイマスガ

○若槻國務大臣 國體其モノヲ變革シヤウトシ、或ハ議會否認ト云フコトモ私ハ宜シクナイト思ヒマスカラ之ヲ取締ル、竝ニ共產主義ヲ取締ルト云フノ

ガ原案デアリマス、併シ今日最モ憂ヘテ居リマスノハ、國體ニ對シテ彼此言ヒ、或ハ經濟ノ根本デアリマス私有財産制度ノ根本ヲ覆サウト云フヤウナコトデアリマス、議會否認ナドト云フコトハ割合ニ少イノデアリマスカラ、御考次第二依ッテハ、或ハ國體ト云フコト、私有財産制度ト云フコトヲ十分ニ守ッテ行ケバ、大體ノ取締ノ目的ヲ達スルデヤナイカト云フ御意見ハ、或ハサウデハナイカト思ヒマスガ、政府トシテハモウ一ツ議會否認ト云フコトモ取締ッテ行キタイト思ヒマスガ、ソレハ他ノ法規ノ取締ニ讓ッテモ場合ニ依ッテハ差支ナイカ知レマセヌ

○中村(啓)委員 尙ホ先程質問致シマシタ點ニ御答辯漏レガアリマス、ソレハ大臣ノ御答辯中ニ在ッタ言葉デアリマスガ、政府當局ガ屢、政體ノ變革ト云フ、其政體ノ根幹タルモノハ代議政體デアルト云フコトヲ説明スル爲ニ、變革ノ二字ニ依ッテ政體ヲ制限シタリ、擴張シタリスル嫌ガアル、國體ヲ變革スルト云フ、此變革ノ二字ヲ以テ國體ヲ制限シタリ、擴張シタリスルヤウナ考ガアルノデヤナイカト云フ嫌ガアルノデアリマス、左様ナ意味ヲ持ッテ居ルカ、持ッテ居ナイカ、變更ト云フ字ト同ジデアルケレドモ、ソレニ強キ革命的ノ意味ヲ含マセルニ過ギナイノデアアルカ、或ハ國體ノ根幹トカ何トカ云フ意味ヲ持タスノカ、持タサナイノカト云

フ意味ヲ承ッテ置キタイ
○若槻國務大臣 私前ニ申上ゲル通り、毎回出席シテ居リマセヌノデ、既ニ御議論ニナッタ點ハ承知致シマセヌ、ソレ故ニ極ク單純ニ淡白ニ私ノ考ダケヲ申上ゲルノデ、今マデ言論ノアッタコトト、若シ大變違ヒガアリマスカラ、能ク言論ヲ聽イテ見マセヌトハッキリ申上ゲラレマセヌガ、御問ヲ唯、其儘ニ受ケテ答辯スレバ、變革ト云フ文字ノ爲ニ國體ガ左右サレルコトハアリマセヌ、國體ト云フモノハチャント定マッテ居ッテ、ソレヲ變革スルコトガイケナイト云フノデアッテ、變革ト云フ文字ノ爲ニ國體ノ見方ガ變ッテ居ルヤウナ關係ハアルベキモノデナイト私ハ單純ニ考ヘテ居リマス、若シ今答辯スルコトガ是マデ此所デ御議論ノアッタコト、違ッテ居リマスカラバ、其御議論ヲ能ク拜聽シテカラ更ニ考ヘマセヌトイケマセヌガ、淡白ニ單純ニ御答スレバ、變革ト云フ言葉ガアル爲ニ國體ヲ廣ク見タリ狹ク見タリスルコトハナイト申上ゲテ宜イノデアリマス

○中村(啓)委員 了承致シマシタ、尙ホ伺ッテ置キタイノハ、政府ハ國體ヲ變革スルト云フヤウナ、絕對的ナ重大ナル犯罪者ニ對スル刑罰ト、私有財産制度ヲ否認スル程度ノ犯罪ニ對スル刑罰ト、多少等差ヲ設ケルト云フ必要ヲ認メラレナイカ、日本ノヤウナ忠君愛國ノ觀念ノ最モ旺盛ナル國柄ニ於キマシ

テ、國體ヲ變革スルト云フヤウナ大逆無道ノ者ト、私有財産制度ヲ否認スルト云フ程度ノ犯罪ト、同一ノ刑罰ヲ科スルト云フコトハ穩デナイトモ考ヘラレル、之ニ等差ヲ設ケルト云フコトニ付キマシテ、等差ヲ設ケテモ差支ナイ、等差ヲ設クベキ筈デアルト云フ御考ガアルカ否カラ伺ヒタイ

○小川國務大臣 此點モ先般來私ヨリ此委員會ニ於テ答辯致シタ點デアリマスガ、尙ホ私カラ一應申上ゲテ置キマス、本法案デハ國體ノ變革、政體ノ變革、私有財産制度ノ否認、此三ツヲ同ジヤウナ罰ニシテアル、ソコデ先日御尋ノアリマシタ點ハ、國體ハ絕對ノモノデアアル、政體ハサウデハナイ、其間ニ自カラ重イト輕イトノ別ガアル、然ルニ之ヲ變革スル者ヲ同ジ罰ニスルノハドウカト云フ御問デアッタ、之ニ對シテ成程國體ハ絕對ニシテ最モ重キコトハ言フマデモナイ、政體ノ變更ハ之ニ較ベルト、申サバ輕イト申シテモ宜シウゴザイマセウ、併シ本案ガ何故之ヲ同ジニ罰シタカト云ヘバ、本案ハ國體ノ變革其モノヲ罰スルノデハナイ、又政體ノ變革其モノヲ罰スルノデハナイ、國體ノ變革ガ實現スルト云フコトハ内亂ニ因ラナケレバ出來ナイ、政體モ恐クハサウデアアルカモ知レマセヌガ、此内亂ニ依ッテ國體ノ變革其モノヲ實現スルト云フ時ハ大變デアアル、ソレヲ罰スルト云フ趣意デハナイ、其モノヲ罰ス

ルモノデアッタナラバ、一方ハ重イノデアリマスカラ非常ニ重イ罰ヲ科シ、一方ハモウ少シ輕イノデアアルカラ、輕イ罰ヲ科シテモ宜イカモ知レマセヌガ、ソコガ御考ヲ願ハナケレバナラヌ點デアアル、國體ノ變革其モノヲ罰スルノデハナイ、私有財産制度ヲ覆スト云フ其モノヲ罰スルノデハナイ、ソレヲ目的トシテ、サウ云フコトヲ煽動スルヤウナ豫備ノ又豫備ヲ罰シヤウト云フノデアアル、是ハ刑法ノ犯罪等カラ見ルト餘程特別ナル者ヲ罰シヤウト云フノデアアル、普通ノモノデアレバ、人ヲ殺シタラ殺スコトヲ罰スル、或ハ其豫備、之ニ著手シタコトヲ罰スルト云フノデアリマスガ、本案ハサウデハナイ、事如何ニモ重大デアリマスカラ、豫備ノ又豫備ト申シテモ宜シウゴザイマセウ、其豫備ノ又豫備ヲ罰スルノデアアル、普通ノ犯罪デハ罰スル必要ハナイ、又罰スルコトノ出來ナイヤウナ第一ノ著手ヲ罰シヤウト云フノデアアル、何故ソレヲ罰スルカト云ヘバ、ソレガ第二步第三步ト進ンデ行ッタ後ニ至ッテハ是ハ如何トモスベカラズ、内亂ニマデ至ッタ以上ハ、是ガ全國ニ擴ガッテシマッタ以上ハ手ヲ出スコトガ出來マセスカラ、特殊ナル、極メテ特別ナルモノデ、普通ノ刑罰トハ違フノデアリマシテ、門前ニ於テ、門ニ入ラナイ前ニ罰シヤウト云フノデアアル、其門ニ入ラナイモノヲ罰シヤウト云フ事柄ガ刑罰ガ同ジデアアル

ト云フ譯デアル、國體ノ變革其モノヲ罰スルノデハナイ、變革ヲ目的トシテ動キ始メタ、其門前ニ於テ第一歩ヲ罰スル、其第一歩ヲ罰スル必要——私有財産制度ノ否認モ、政體ノ變更モ、國體ノ變革モ、其初ニ於テ罰セザルヲ得ザル必要ガ同ジデアルカラ、同ジ罰ヲ科スルト云フノデアリマスカラ、國體其モノト政體トノ輕重大小ノ區別ト云フモノトハ關係ノナイコトニナル、左様御承知ヲ願ヒマス

○前田委員長 一寸中村君、今速記課ノ方カラ、中村君ノ發言ハ語尾ガ不明瞭速記ガ困難デアルカラ、注意シテ頂キタイト云フコトヲ申シテ參リマシタカラ、一寸申上ゲマス

○中村(啓)委員 サウデスカ——只今ノ小川司法大臣ノ御答辯ハ私ノ伺ッテ居ル點ニ觸レナイノデアリマス、語尾ヲハツリシテモ要領ヲ得ナイ、併ナガラ内務大臣ガ御急ギデゴザイマスカラ、モウ一點ダケ伺ッテ打切りマス、ソレハ此法文ニ付テバアリマス、此第二條ニ

「前條第一項ノ目的ヲ以テ其ノ目的タル事項ノ實行ニ關シ協議ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス」トアリマスガ、此協議ト云フ言葉ニ付テハ、先日來委員會ニ於テノ質問應答ニ依リマシテ、是ハ協議ヲ爲シタル場合ガ、協議ニ應ジナカッタ者ヲドウスルカ、協議ニ應ジナカッタ者ハ罰シナイ

カ、協議ニ應ジナカッタ者ガアッテモ——協議ヲ受ケタ者ガ協議ニ應ジナイデモ、協議ヲシタ者ハ罰セラレルコトニナルト仰セラレタ、ソレナラバ此協議ト云フ文字ハ甚ダ宜シクナイ、協議ト云フ文字ヲ使ヘバ協議ヲシタル場合ニハ罰セラレルト云フヤウナ形ニナル、ソレデアリマスカラ若シ其意味カラ致シマス、協議ヲ申出デタ者ダケガ必ズ罰セラレルノデアリマス、其協議ヲ申出タ——ソレヲ承認ヲ致シテ、ソレニ應ジタル者ガ罰セラレルコトデアレバ、寧ロ勸誘ヲ爲シ、又ハ之ニ應ジタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス、斯ウ致シタ方ガ明瞭デアル、協議ト云フ文字ヲ使ヘバドウシテモ協議ヲシタ者ガ罰セラレルノデ、協議ニ應ジナカッタ場合ハ協議ノ効果ハ何モナカッタノデアリマスカラ、罰セラレナイヤウニ見エ、ソレヲ承認ヲ致シタ——勸誘ヲ爲シタル者、又ハ勸誘ニ應ジタル者ハ之ヲ罰スルト、斯ウ云フ風ニシタ方ガ宜シイト思ヒマス

○若槻國務大臣 是ハ本當ハ法律起草ノ專門ノ事ニ屬シマスガ、私ハ大體其實行ノ爲ニ相談ヲシテ、ソレヲ實行シヤウト云フノデ——ソレヲ取締リタイト思ウテ居リマスカラ、之ヲ言ヒ表ス言葉トシテ、協議ト云フ言葉ガ一番宜カラウト思ヒマス、只今中村君ハ勸誘シ、之ニ應ズルト言ッタヤウナ事柄ガ宜カラウト仰セニナリマスガ、專門ノ方

ノ事柄ハ是ハ寧ロ司法省ノ刑事局長カラ御答シタ方ガ便宜デハナカラウカト思ヒマス——甚ガ失禮デアリマスガ、貴族院ニ會議ガ始リマシタカラ退席ヲ御許シヲ願ヒマス

○前田委員長 ドウデスカ土屋君——成ベクモウ貴族院デ普通選舉ノ……

○土屋委員 時間ガモウアリマセヌカラ、私ノ質問ハ明日ノ本會議ノ時ニ——小川司法大臣ガ御出デゴザイマスカラ——答辯ヲ戴イテモ差支ナイノデアリマスガ、内務大臣ニ伺ヒマス、内務大臣ハ非常ニ口癖ニ、此法律ハ勞働運動ヲ脅威スルモノデナイト云フコトヲ再三仰セラレテ居ル、私共ノ見ル所デハドウシテモ此私有財産制度ヲ否認スルコトヲ目的トシタル者云々ト云フ規定ガ、勞働團體及ビ勞働運動ヲ脅威スルト云フヤウニ考ヘテ居ル者デアリマス、之ニ付テ愚見ノアル所ヲ申述ベテ、自分ノ蒙ヲ啓イテ貰ヒタイノデアリマスガ、折惡シク時間モアリマセヌシ致シマスカラ、私ハ此問題ニ對シマシテハ明日改メテ本會議デ質問致シタイト思ヒマス

○横山委員 極ク簡單ニ申上ゲマス、司法省ノ政府委員ヨリ本法ハ刑法ノ三十五條ノ適用ヲ受クルノ結果ト致シテ、合法的行爲ノアルコトヲ認ムルコトガ出來ル、ソレハ即チ上下兩院ノ議員ガ上奏ヲ爲ス場合デアルト御答ニナツテ居ルノデアリマス、サスレバ勿論此

我が日本帝國ニ於テ國體ノ變革ト云フガ如キコトヲ企テ、若クハ夢見ルト云フガ如キ不逞ノ徒ガアルコトハ信ジマセヌガ、不幸ニ致シテ假ニ國體ヲ云爲スルト云フ意味ニ於テノ上奏ガ出マシタ場合モ、尙且ツ合法性ノアルモノト考ヘテ宜シイノデアリマス

○山岡政府委員 此點ニ付キマシテハ前ニ此處デ此點ニ關係シタ事ヲ述ベテ置キマシタ、極メテ重大ナル問題デアリマス、今日之ニ向ッテ單純ニ御答ヲ致スベキモノデハナイト私ハ思ッテ居リマス、即チ學說ガ是ハ分レテ居ルノデ、上奏權ノ範圍ト云フモノハ廣狹ノ學說ガアリマス、狹イ學說ハ可能ナリ、此即チ議院ノ權能ニ當然スル事デナケレバ上奏ハ出來ナイ、即チ議院ノ權能ニ遵由シテ居ル事デナケレバ出來ナイ、一部分關係アル事項デアレバ上奏ガ出來ル、斯ウ云フ風ナ狹イ解釋ヲスルト、上奏權ニ付テハ法例上何等ノ制限ガ無イカラシテ、如何ナル事項デモ上奏ガ出來ル、斯ウ廣ク解釋スル學說トアツテ、近來ノ傾向ハ餘程廣ク解釋スル傾向ニ進ンデ居リマス、進ンデ居リマスルケレドモ、斯ノ如ク學說ガモウ一ツ對立シタルモノアル以上、而シテ國體ナルモノハ我が國民ノ之ヲ云爲スベキモノデナイ、先天的ト致シテモ宜シイノデ、我國ノ歷史上ニ於テ一定不動ノモノデアリマス、之ニ關スル事ノ上奏ノ出來ルト云フガ如キコトハ考ヘベキ

コトデモナイシ、又此處ニ於テ是ハ出來ルト云フガ如キコトヲ申述ベキ事デモナイト思ヒマスカラ、即チ出來ナイノデゴザイマセウ、斯ウ申上ゲタイノデアリマス

○横山委員 私ハ益、其疑問ガ起ッテ參リマシタノデアリマス、元來政府ハ此案ヲ御提出ニナリマシタ當初ニ於キマシテハ、國體政體ヲ變革シ、又ハ私有財産制度ヲ否認スルト云フガ如キ場合ニ於テ、合法制アルコトヲ認ムル餘地ハナイノデアルト御答ニナッタノデアリマス(ヒヤ)而シテ前田委員長ノ發言ニ付テ刑法總則ノ適用ハ受クルノデアルト言ハレタ、ダカラ自然論ガ進ンデ參リマシテ、或ハ其時ノ御答辯デハ請願モ亦合法性ヲ持ッテ居ルノデアアル、又其他ノ法律案、建議案、決議案等モ皆合法性ヲ持ッテ居ル、斯様ニ御答ニナリマシテ、然後御答ニナリマシタ其答辯ノ節ガ、只今御問ヲ致シタル上奏權ノ合法性ヲ有ッテ居ルト云フコトニ歸著ヲ致シテ居リマス、サウシテ其請願ナリ、法律案、建議案、若クハ決議案ト云フモノニ付テ、合法性デアルト云フ御答辯——此議論ヲ歸シテ實質的ヨリ御答ニナッタノデアリマス、而シテ最後ノ此言ニ依レバ憲法ノ變更ハ勅諭ニ依ルベキモノデアルト仰シヤッタノデアリマス、サスレバ國體ノ如キハ——勿論此上奏權ノ如キモノハ認メテアリマヌルケレドモ、上奏セント欲スル事柄

ハ只今國體ノ關係以下悉ク憲法ニ規定セラレテ居ル事柄デアアル、實質上ノ意味ヨリ致シマスレバ、上奏權モ亦此意味ニ於テ出來ナイト云フ御答辯ガ至當デハナイカト考ヘルノデアアル、何故——

○山岡政府委員 前ニ戻ッテ議事ノ經過ノ御説明ガアリマシタガ、矢張一言其點ヲ釋明致シテ置ク必要ガアルト思ヒマス、前田委員長ノ御質問ニ對シテ刑法ノ三十五條以下ノ正當ノ行爲ヲスルナラバドウデアアルカ、犯罪ハ阻却出來ル、阻却——即チ犯罪ハ不成立ニナルガ、總則ヲ被ルカ被ラヌカ、總則ヲ被ル法律デアアル、總則ヲ除外シナイ、即チ總則ヲカブルガ故ニ總則ニ於テ適法行爲デアレバ皆無罪デアアル、斯ウ御答ヘ云フノデアリマス、ソコニ少シモ間違ッ

其權能ニ非ズ、斯ウ云フコトニナッテ、更ニ進ンデ然ラバ上奏ハ如何ニ、斯ウ云フコトニナッテ順序デアリマス此順序ニ付テ多少御諒解ニナラヌ點ガアリマシタナラバ、今日之ヲ明瞭ニ申上ゲルノデアリマスカラ、何卒左様ニ一ツ御諒解ヲ願ヒタク存ジマス、而シテ又上奏ノ關係ニ付キマシテハ憲法ヲ變更スルコトノ可能性アル事項ト、可能性デナイ事項トアル、茲ヲ一ツ申上ゲナケレバナラヌ、我ガ憲法ニ於キマシテ

モ變更ノ出來ル條文ト、變更ノ出來ナイ條文ガアル、即チ第一條ノ如キ——其他ニモアラウト思ヒマスガ、第一條ノ如キハ是ハ變更ノ出來ナイ條文デアリマス、即チ沿革上ノ事實ヲ其儘ニ茲ニ書表シタノニ過ギナイノデアリマシテ、第一條ノ如キハ「大日本帝國ハ萬世一系ノ天皇之ヲ統治ス」トアル故ニ、不變更性ヲ有ッテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ憲法ニ於ケルコト變更性ヲ有ッテ居ル事ニ付テハ上奏ハ出來ナイト云フノデ寧ロ適當デアリマス、ソレ故ニ出來ナイノデアラウ、サウ言フコトガ至當デアルト今御答ガシタノデアリマス、不變更性デナイ、即チ變更可能ナル部分、殊ニ政體ノ大部分ハサウデアリマセウガ、斯ウ云フ事ニ付テハ時勢ノ必要ニ後レマシテ、之ヲ變更スベキ場合ヲ生ズルデアラウト思ヒマス、又憲法ニ於テモ既ニ七十三條ニ於テ憲法ハ變更ト云フコトハ豫想致シテ居ル、豫

想致シテ居ル部分ニ付テハ上奏權ノ範圍ニ屬シナイコトハナイノデアリマス、上奏ノ出來ル以上ト云フモノハ之ヲ議員ノ權能デアルト云ハナケレバナラヌ既ニ權能デアアル以上ト云フモノハ、此事ニ關シテ上奏スルト云フコトニ付テハ、即チ法令ニ基イタ職務行爲デアリマスルガ故ニ、之ヲ刑罰法デ論議スル限リデナイコトハ明瞭デアリマス、何卒左様御承知ヲ願ヒマス

○横山委員 サウ致シマスルト例ヘバ政體ノ變更トカ、私有財産制度ノ否認ト云フ、斯ノ如キ内容ヲ有ッテ居ル案ニ付テ、議員ガ法律案ヲ作成シ、決議案ヲ齎スト云フコトニ付テハドウナリマスカ

○山岡政府委員 此點ニ付キマシテハ政體ノ變更ト云フコトニ付キマシテ憲法ヲ改正シ得ベキ部分ニ付テ、只今申上ゲタ上奏ノ一途アルノミト考ヘル、決議案トカ、建議案トカ、法律案ニ付テモサウデアリマス、憲法ノ二十七條ヲ變更シナイ限り所有權ノ根幹ヲ動カスコトハ出來ナイノデアリマス、根幹ノ問題ト枝葉末節ノ問題トニツアル、其根幹ニ付テハ憲法ノ修正ヲ致サンケレバナラヌ故ニ、上奏ノ一途アルノミデアリマス、枝葉末節ニ屬スル事ニ付テハ建議案モ、決議案モ、法律案モ、之ニ依ッテ差支ナイ事柄デアリマス

○横山委員 司法大臣ト內務大臣ノ御答ハ此政體ト云フ文字ニ付テ代議政體

デアルト云フ御答ニナリマシタカラ、極メテ明瞭ナノデアリマス、此事ニ關シテハ前田委員長ノ間ニ對シテ岩崎政府委員ガ三日ノ委員會ニ於テ御答ニナリタ、是ハ午前デ、午後ニ至ッテ小川司法大臣ハ其事項ハ御取消ニナッタガ、御取消ニナッタ後更ニ吉田委員ノ間ニ對シマシテ、山岡政府委員ノ御答ニナリタ事柄ガアルノデアリマス、即チ政體ト云フ文字ヲ基調ト致シテ御問ニナリマシタ事柄ニ付テ、山岡政府委員ハ斯様ニ御答ニナッテ居ルノデアリマス、「政體ト云フ字ハ憲法ノ形式上カラ申シマスレバ憲法ニ書キ表シタ各條章中之ニ關係致シマスルモノヲ謂フノデアリマス、單リ代議士ヲ基礎トシタル立法府ト云フ意味デハナイノデアリマス、唯、是ハ變革ト云フコトニ結付ケテ御考慮ヲ願ヒタイ」斯ウ云フ事ヲ御答ニナッテ居リマシテ、政體ト云フソレ自體カラ自ラ代議政體ト云フ事ガ生レテ來ルノデハナイ、變革ト云フ文字ガ結付ケラレテ、政體ノ根幹ヲ破壞スルト云フコトガ矢張議會制度ノ破壞ニナルノデアアル、斯ウ云フ意味ニ了解シナケレバ此條文ハ解釋ハ出來ナイノデアルト御答ニナッテ居リマスガ、先刻內務大臣ノ御答ニナリマシタ所ト尙且ツ牴觸スルヤウニ思ヒマスガ、今日デモ矢張左様ナ御見解ヲ把持セラル、ノデアリマスカ

○山岡政府委員 少シモ牴觸シタコトトハ私ハ考ヘマセヌノデアリマス、即チ政治上カラ申シマシテ今日此法律ヲ制定シテ、何ヲ取締ラントスルカト云フノガ立法ノ眼目デアリマス、申上ゲルマデモナク立法ハ政治的ニ起ッテ來ルノデアリマシテ、法律ノ爲ニ立法ガ出來テ來ルコトハナイコトハ御承知ノ通りデアリマス、故ニ今日此立法ヲ爲サントスルト云フコトハ政治上ノ見地カラ來テ居ル、政治ノ見地カラ何ヲ取締ラントスルヤト云フ問題ニ付テ、國務大臣ヨリ代議政體ノ變更ヲ取締ラントスルノデアルト云フ御答ヲ終始一貫致シテ居ルノデアリマス、ソコデ私ノ申上ゲタコトハ法文ノ解釋デアリマス、是ハ此法文ヲドウ解釋スルカト一段御問ニナリマシタノデ、法文ニ於テハサウ解釋ハ出來ヌデハナイガ、政體ト云フモノハモット廣イ意味デアリマス、故ニ此法文ヲ解釋シテ政治上ノ見地カラ來タ所ノ精神ヲ此法文ニ依ッテ代表ガ出來テ、此法文ニ依ッテ適用シナケレバナラヌ、斯ウ云フ意味ヲ述ベナケレバナラヌ、即チ法律ヲ制定致シマシタ以上ハ、解釋上ノコトヲ慮ラナケレバナラヌノデアリマスカラ、其法文ニ對シテハ此解釋ヲ致シテ申上ゲタノデアリマス、即チ變革ト云フコトハ根本ヲ變ヘルコトデアリマシテ、我國ノ立憲政治ノ根本ハ代議政體デアアル、斯ノ如クシテ此政體ヲ變革シト云フコトヲ解釋スレバ左様ニナル、斯ウ申上ゲル次第デアリマスガ、一ツハ法律上ノ

解釋カラ申上ゲ、他ハ政治上カラ申上ゲタノデ、毫モ其間ニ間隔ハナイノデアリマス、併シ今中村委員ノ御説ヲ拜聴致シマシテ、詰リ目的物ヲ動的作用ニ依ッテ變更スルト云フコトハ出來ヌデハナイカ、是ハ解釋ヲ誤ルノデハナイカ、斯ウ云フ御説デアリマス、私共ハサウハ思ハヌノデアリマス、詰リ全體ヲ抱括シテ其目的物ヲ何處マデ其作用ハ解釋シテ行クノデアルカ、是ハ法律ト云フモノハ一字一句ノ唯、文理的ニ讀ムニ非ズシテ、全體ヲ包括シテ其精神ヲ考ヘナケレバナラヌノデアリマシテ、之ニ依ッテ常ニ其目的物ト作用トヲ結付ケナケレバ理解ハ出來ヌコトニ考ヘテ居ルノデアリマス

○横山委員 此私有財産制度ト云フコトニ付テハ屢、質問應答ガ繰返サレマシタガ、若槻內務大臣ノ御答辯ニ依ルト勿論土地ヲ國有ニスルコトモ礦物ヲ國有ニスルコトモ宜シイガ、併シ斯ノ如キモノヲ全部並ベ來ッテ、其等ヲ包括シテ國有ニスルト云フコトハ、是ハ私有財産制度ノ否認ニナル、根本ノ破壞ニナルノデアアル、斯ウ御答ニナッテ居リマシテ、小川司法大臣ハ縱シ全部ヲ國有ニシテモ、其前提ト致シテ賠償ト云フ事實ガ行ハレテ、私有財産制ト云フ觀念ガ破却セラレナイ程度ニ於テ行ハレ、バ宜シイノデアルト云フ御答デアッタノデアリマス、私ハ寧ロ此私有財産制度ノ觀念ニ於テ賠償ト云フ事實ガ伴ヘバ——尤モ是ハ事柄如何ニ依リマスガ、事實其對價ニ値スルダケノ物質ヲ提供致シテ國有ニスルトカ云フコトハ宜シイト思ヒマスガ、併シ斯ウ云フ場合ガアツタカラドウナルノデアリマセウカ、勿論一小部分ノ財産ヲ徒ニ公益ノ爲ナリト稱シテ沒收ヲシテ國有ニシテモ——斯ウ云フ特別ノ事象ノアツタ時ハ矢張是ヲモ私有財産制ノ否認ト見ラレルノデアリマス、譬ヘテ見レバ公益ノ爲ニ風俗壞亂ニ屬スル所ノ圖書ヲ沒收ナサル、是ハ勿論適當ナルコトデアリマス、此間山岡政府委員ノ御引例ニナリマシタ、傳染病豫防ノ爲ニ何人カノ所有ニ屬スル所ノ牛馬ヲ殺シテシマウト云フコトモ、公益上差支ヘアリマス、又火災ノアツタ時ニ一私人ノ家ヲ壞シテシマウト云フコトモ已ムヲ得ナイコトデアリマセウ、是等ハ勿論公益上ノ行爲ト認メラレマスガ、徒ニ家ヲ一軒デモ沒收シテシマウト云フコトヲ企ツタ時ハ、ドウ考ヘテ宜シウゴザイマスカ

○小川國務大臣 其點ハ度々申上ゲタ通りデアリマス、先日來申上ゲタ以上ニハ別ニ御答ヲ申スベキコトモナイノデアリマス、先日來度々申上ゲタ通りデアリマス

○横山委員 度々ト仰シヤルガ、ソレデハ斯ウ承ッテ宜シイノデアリマス、カ、縱シ一部分デモ私有財産制ヲ否認スルト云フ觀念サヘアレバ——尤モ蘆荈ノ

如キモノデハイケマスマイガ、相當價值アルモノヲ沒收スルト云フ場合ハ無論之ニ這入ルト見テ宜シウゴザイマスカ
○熊谷政府委員 制度ヲ否認スルト云フコトノ根本趣旨デアリマスカラ、切レ切レノ一部分ノモノヲ否認シテモ、制度ヲ否認スルノデナケレバ宜シイト思ヒマス

○清瀨委員 私ハ此審議ノ中止ト言ッテ宜イカ、延期ト言ッテ宜イカ、一時中止ヲ求メマス、ソレハ矯激ノヤウデマ
ガ、能ク事情ヲ聽クト、今横山委員ヨリノ質問ニ對シテ憲法變更ノ上奏權ト刑法第三十五條トノ關係、是ハ本案ノ根本的重大問題デス、ソレニ付テ政府委員ハ是ハ單純ニハ答ヘラレナイ、學說ノ岐ル、所デアルガ故ニ——院內デ上奏スルコトハ疑ナイガ、ソレガ少シデモ院外ニハミ出ス場合ニハ、其權限ノ範圍ニ付テ學說ガ岐レテ居ルカラ答ヘラレナイト、言葉巧ニ種々ナル説明ヲ付ケラレマシタガ、眞意ヲ聽取ルコトハ甚ダムヅカシカッタノデアリマス、此重大問題ニ付テ確定的ノ斷言ガナイ、若シ此言葉ニ不明ガアレバ——是ハ宜イ、

解釋上ニ議論ガ紛々ト起ルコトハ思ヒヤラレルノデアリマス、政府ノ方デ此審議ヲ急ガレルコトハ御同情致シマスガ、併シ審議ヲ止メテ、是等ニ付テ更ニ政府ト審議ヲ重ネテ答辯ヲ一致サレ、又若シ政府ニ於テ文字ニ修正ノ點ガアレバ、政府カラ修正案ヲ出シテ、改メテ審議セラレンコトヲ望ミマス

○小川國務大臣 只今ノコトハ重大問題デアリマスカラ、尙ホ改メテ私ヨリ一言述ベテ置キタイト思フ、先刻ノ山岡政府委員ノ答辯ハ餘程明瞭デアルト私ハ考ヘテ居リマシタガ、只今清瀨君ノ御問ガアリマシタカラ更ニ申上ゲマス、憲法ノ變更云々ノコトニ付キマシテハ、先日來述ベマシタ如ク、憲法ノ變更ハ勅命ニ依ッテ帝國議會ニ變更ノコトヲ議決サセル譯ニナッテ居ル、故ニ勅命ニ依ルノ外ハ變更ノ途ノナイコトハ御承知ノ通りデアリマス、而シテ此勅命ヲ下シ賜ハンコトヲ上奏スル權利ヲ持ツモノハ議會ヨリ外ニナイ、故ニ議會ガ上奏スルコト云フコトハ是ハ出來ルコトデアラウ、斯ウ云フコトヲ段々申上

合ニ依ッテ時勢、人心ノ變化ニ依ッテ數百年ノ後ニハ變更スルカモ知レナイ、可能性ガアルト云フコトヲ以テ其區別ヲ御問ニナッタノデ、私モ其通りト御答申シタ、國體ハ絕對デアリマスガ、政體ハ或ル場合ニ依ッタナラバ、時勢人心ノ變化ニ依リ、數百年ノ後ニ於テ或ハ變更スル必要ガアルカモ知レナイ、即チ絕對デナイ、併シ國體ニ至ッテ然ラズ、此國體ノ下ニ憲法モ出來テ居レバ、議會モ出來テ居ル、所有權ノ制度モ出來テ居ル、故ニ國體ハ絕對デアリマス、我國ニ於テハ如何ナル場合ニ於テモ、如何ナル方法ヲ以テスルモ、政府ノ所見トシテハ國體ノ變更ヲ行ウコトハ斷

○清瀨委員 私ハ國體ノ絕對性ヲ疑フノデハナイノデアリマス、憲法ニ依ッテ天皇ガ統治スルコト云フコトハ是ハ明々白々タルコトデアアル、唯、憲法變更ヲ上奏スル場合、院內デ以テ上奏ノ言議ヲ爲スコトハ許サレルガ、ソレニハ三十名ノ議員ガ必要デアアル、又政黨ノ協議ヲ經ナケレバナラヌシ、場合ニ依ッテハ國民ノ贊同ヲ得ルコトモ必要デアリマセウ、如何ナル所マデガ可能デアッテ、如何ナルモノガ刑法第三十五條デ拘束サレルカト云フコトガ問題デアアル、ドシナ氣違ガアッテ——難波大輔ノ如キ者ガアッテモ、斯様ナ上奏スルモノハアリマセヌ、其點ニ付テハ私ハ一步ト雖モ小川君ニ譲ルモノデハアリマセヌ

ケレドモ、上奏ノ出來ルモノニ付テ院內デ以テ上奏ノ理由ヲ説明スルコトヲ許サル、コトハ勿論デアアルケレドモ、之ヲスルニハ既ニ三十名ノ同意ガ必要デアアル、其三十名ノ議員トハ必ズ協議シナケレバナラヌ、之ヲ協議スル以上黨內デ議論ヲ闘ハス必要ガアル、又選舉區ノ同意ヲ必要トスル場合モアル、天下ノ輿論ヲ喚起スル必要アル場合モアル、ドノ程度マデ刑法總則三十五條ニ保護サル、カ問題デアアル

○小川國務大臣 其憲法變更ノアル部分ニ付テハ、先般既ニ山岡政府委員カラ詳シク申上ゲデアリマスカラ、アノ答辯ニ依ッテ御承知ヲ願ヒマス
○前田委員長 清瀨君ニ一寸只今ノ審議中止ノ理由ヲ承リマスガ、委員長ハ斯ウ云フ風ニ御解釋ニナッタラドウカト思ヒマス、要スルニ斯ウ云フ法律ガサウ云フ合法性ハナイト云フ答辯ト、刑法總則三十五條ヲ適用サル、場合、刑法總則三十五條ノ正當ノ業務トハ如何ナル範圍ヲ言フカト云フコトハ自ラ別問題デアリマス、吾々ハ議院最高ノ權能トシテ此上奏權ヲ有ッテ居ル、其上奏權ガ果シテ院ノ内外ヲ通ジテ職務範圍デアアルヤ否ヤト云フコトハ別問題デアアル、司法省ノ一刑事局長ノ答辯ガ必シモ權威ヲ爲スモノデナイト考ヘル故ニ、此際ハ此程度ニ於テ審議ヲ進メラレ、御議論ガアルナラバ討論ニ讓ラレテハ如何デアリマスカ

○清瀬委員 討論ニモ場合ニ依ッテ讓
リマスガ、此法ノ適用上重要ナ事ト思
フ、委員長ノ御議論モ私ハ理論トシテ
ハ認メナイデハアリマセス、此法律ヲ
作ッテ置イテ、後ノ刑法ヲ適用スル裁判

○前田委員長 中止ナラバ動議デスカ

○清瀬委員 動議デス

○前田委員長 賛成ガアリマスカ

「賛成」「反對」ト呼フ者アリ」

○前田委員長 清瀬君ノ動議ニ賛成ノ
諸君ノ起立ヲ求メマス

贊成者 起立

○前田委員長　少數、否決ニナリマシタ、質問ヲ終了シマシテ討論ニ入ル前二、三十分間休憩致シマス

午前十時四十三分休憩

午前十一時二十九分開議

○前田委員長　休憩前ニ引續キマシテ
開會致シマス、開會ヲ致シマスニ付テ
一言申上ゲテ置キマス、討論ニ入リマ

シテ修正案ガ出テ居リマスカラ、先ヅ
修正案ノ説明ヲ聽キマシテ、本案並ニ
修正案ヲ纏メテ一括シテ討論致シタイ
ト思ヒマスカラ、左様ドウゾ御諒承ヲ
願ヒマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○前田委員長 治安維持法案ニ對スル
修正案ト致シマシテ、横山金太郎君外
九名ヨリ修正案ガ提出サレテ居リマ
ス、先ヅ其趣旨ヲ承リマス

○横山委員　簡單ニ修正ノ理由ヲ申述
ベマス、併セテ本案ニ付テ意見ヲ附加
ヘマス、本法ノ「第一條國體若ハ政體ヲ
變革シ」トゴザイマスルガ、此中一條申
デ「若ハ政體」ト云フ四文字ヲ削除スル
ノデアリマス、「政體」ト云フ文字ハソ
レ自體カラ致シテ政府ノ説明セラル、

ガ如ク、立憲代議政體ト云フコトヲ當然ノ結論トシテ解釋ハ出來ヌノデア
ル、殊ニ御説明ニ依リマシテモ司法省
ノ當局者ト内務省ノ當局者ノ御答ニナ
ル所ハ答辯ガ異ツテ居リマスシ、又實際

申シマス、サウデハゴザイマセヌ、是亦政府委員御聲明ノ如ク、現在ノ法規ニ於テ之ヲ取締リ得ル餘地ガアルノデゴザイマス、此意味ニ於キマシテ此四文字ヲ削ルト云フ修正ノ勸議ヲ提出致スノデゴザイマス、其他ハ總テ原案ヲ肯定致スノデアリマス、即チ之ニ賛成ヲ致シマス、賛成ヲ致シマス理由ニ至ツテハ、過日來屢、委員ト政府者トノ間ニ質問應答ガ交換ヲセラレマシテ、其間ニ於テ自ラ本案ハ之ヲ支持シナケレバナラヌト云フ理由ハ日星ノ如ク炳トシテ明デアルト考ヘマス、此以上ハ述ベマセヌ、議場ニ於キマシテハ、委員長ノ明敏ナル頭ニ「コンデンス」セラレマシテ、然ルベク御報告アランコトヲ希望致シマス

○前田委員長 次デ修正案トシテ中村啓次郎君外數名ヨリ修正案ガ出テ居リマス、是ノ御説明ヲ願ヒマス

○中村(啓)委員 私共ハ第一條ヲ左ノ
如ク改メタイノデアリマス、第一條ヲ二

項ニ分チ、國體ニ關スル規定ヲ第一項、私有財産制度ニ關スル規定ヲ第二項ト致シマシテ、「第一條國體ヲ變革スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シ又ハ情ヲ知リテ之ニ加入シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス、私有財産制度ヲ根本ヨリ否認スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シ又ハ情ヲ知リテ之ニ加入シタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス本條第一項第二項ノ未遂罪ハ之ヲ罰

「斯様ニ此第一條ヲ修正致スノデアリス」ト云フ文字ヲ入レルノデアリマス、ソレカラ第二條ノ原案ノ次ニ「前條第二項ノ目的ヲ以テ其ノ目的タル事項ノ實行ニ關シ勸誘ヲ爲シ又ハ之ニ應シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス」ト云フ文字ヲ入レルノデアリマス、ソレカラ第三條ノ原案ノ第一項ノ次ニ「第一條第二項ノ目的ヲ以テ其ノ目的タル事項ノ實行ヲ煽動シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス」ト云フ文字ヲ入レルノデアリマス、ソレカラ第四條ノ原案ノ第一項ノ次ニ「第一條第二項ノ目的ヲ以テ騷擾暴行其ノ他生命身體又ハ財産ニ害ヲ加フヘキ犯罪ヲ煽動シタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス」第五條ハ「第一條第一項第二項及前三條」ト云フヤウニ「第二項」ト云フ文字ヲ入レルノデアリマス、是ガ私共ノ修正ノ點デアリマス、而シテ修正ノ理由ヲ極ク簡單ニ申シマスレバ、第一條ニ於テ「國體若ハ政體」トアリマスノヲ「若ハ政體」ヲ此法案カラ除イタノデアリマス、其除キマシタ理由ハ、大體ハ横山金太郎君ノ御説明ト略、同ジデアリマス、ソレカラ「私有財産制度ヲ根本ヨリ否認スル」ト「根本ヨリ」ノ文字ヲ此處ニ入レマシタ、私有財産制度ヲ否認スル場合ニモ一部ノ私有財産制度ヲ否認スルガ如キハ此法ノ制裁ヲ受ケズ、全然根本ヨリ否認スル場合ニ此法ノ制裁ヲ受ケルヤウニ致シマシテ「根本ヨリ」ト云フ文字ヲ入レタノデアリマス、ソレカラ刑ノ輕重ニ於テ、國體ニ關スル點ヲ重ク見テ十年ト

致シ、私有財産制度ノ點ヲ七年ニ致シマシタ、以下此刑ノ量定ニ依ッテ變テ居リマス、國體ト私有財産ト別項ニ致シ、其刑罰ニモ輕重等差ヲ加ヘタル點ト、政體ノ二字ヲ削除致シマシタ點ガ本案修正ノ眼目デアリマス、ソレカラ第二條ノ「協議」ト云フ文字ヲ「勸誘」ト改メマス、是ハ政府委員ノ御説明ニ依リマシテモ、協議ヲ申出デタル者ハ、其協議ニ應ズル者ノ有ルト否トニ拘ラズ之ヲ罰スルト云フノデアリマスガ、協議ト云フ文字ハ如何ニモ其協議ニ應ゼザリシ者アリシ場合ニハ、協議ヲ申出デタル者ヲ罰シナイヤウナ嫌ガアリマス、寧ロソレヨリモ申出デタル者ノ側ヲモ罰スルヤウニ「勸誘」トシ、而シテ勸誘ニ應ジタル者ガアレバ此應ジタル者モ罰スルト云フコトニ致シタ方ガ明確デアリマイカト信ズルノデアリマス、茲ニ「協議」ノ文字ヲ「勸誘」ト致シタ次第デアリマス、先ヅ右様ノ點ガ修正ノ箇條及修正ノ理由デアリマス

○前田委員長 討論ハ原案竝ニ横山金太郎君外數名ノ修正案ニ對スル賛成トシテ山崎君ヨリ通告ガアリマス、山崎君

○山崎委員 私ハ横山金太郎君ヨリ御提出ニナリマシタル修正案ニ賛成ヲ致シマス此法案ニ依リマスレバ色ミノ議論モ世上ニ行ハレテ居ルコトデアリマス、又此意味ニ於テモ隨分混入シタ質問應答モアリマシタコトデアリマ

シテ、法文ノ簡單ナル割合ニハ、其内容ニ於テモ甚ダ復雜ナル問題デアリマス、併ナガラ先般内務大臣モ提案ノ理由トシテ御説明ニナリマシタ通ニ、此法律ハ無政府主義、共產主義ノ實行ヲ取締ルト云フ點デアリマス、無政府主義並ニ共產主義ハ國家組織、又ハ社會組織ノ根本ヲ破壊スル運動デアリマス、之ニ對シマシテ適當ナル取締ノ實行ヲ要スルコトハ固ヨリノコトデアリマス、此意味ニ於テ私ハ本案ハ當然承認セナケレバナライモノデアラウト思フノデアリマス、唯、本案ノ文句ノ中政體ト云フ文字ハ如何ニモ横山君御説明ノ通り、其意味極メテ曖昧デアリマス、先般私モ司法大臣ニ御伺フ申上ゲマシタヤウニ、政府ノ目指シテ居ラレマス所ノ無政府主義ノ取締ト云フコトハ、必シモ茲ニ政體ナル文字ヲ必要トシナイ、即チ政體ノ變革ノミヲ目的トシテ居ル運動ハ、其與ニ國體ノ變革ヲ目指シテ居ルガ爲デアリマスカラ、ソレ等ノ運動ハ當然國體變革ノ運動トシテ之ヲ取締リ得ルト思フノデアリマス、從ッテ政府ノ趣旨ハ政體ナル文字ガナクテモ私ハ達成シ得ルト考ヘマスガ爲ニ、此文字ハ削除スルノガ適當ト存ジマス、尙ホ中村啓次郎君ヨリ御提案ニナリマシタル修正案モ、一應御尤ニモ拜承致シマスケレドモ、私ハ私有財産制度ノ關係ト國體ノ變革ト云フ關係ヲ必シモ刑ノ量定ニ於テ差別ヲ設クル必

要ハアルマイト考ヘルノデアリマス、假ニ今日共產主義ニ付テ考ヘテ見マシテモ、共產主義ノ實行ト云フコトガ日本ノ國體ノ動搖ヲ來サズシテ行ハレ得ルモノデアアルカドウカ、即チ共產主義ノ實行ハ或ル意味ニ於テハ國體ノ變革トモナリ得ルモノデアリマス、殊ニ又國體ノ變革ノ問題ニ付テハ刑法中内亂罪其他嚴重ナル規定モ存シマスケレドモ、共產主義ノ問題ニ至リマシテハ、此法律案ノミデアリマス、固ヨリ其他治安警察法、新聞紙法等モアリマスケレドモ、刑法ノ内亂罪ノ規定ハ固ヨリ之ニ關係ハナイノデアリマスカラ、此結果其他ノ點ニ付テハ矢張此法律ノ原案ニ規定シテアリマス通りノ刑量デ、差支ナカラウカト存ズルノデアリマス、又第二條ノ協議ト云フ文字ハ成程少シク明瞭ヲ缺クノ嫌モアリマス、此點ニ付テモ私ハ先般來御伺申上ゲタノデゴザイマス、併ナガラ中村君ノ御述ベニナリマシタ、假ニ勸誘ヲ受ケテ其勸誘ニ應ゼナイ者ハ此協議ト云フ箇條デ罰セラレルカト申シマスルト、ソレハ當然其規定カラ除外サルベキモノダト考ヘルノデアリマス、從ッテ是ハ要スルニ文字ノ用ヒ方ノ問題デアリマス、文字ノ用ヒ方ニ依リマスト是ハ十人十色、此文字ガ宜カラウ、アノ文字ガ宜カラウト云フテ、際限ノナイコトデアアルマイカト存ジマス、ソレデ大體ノ趣旨ニ於テ差支ナイト致シマスレバ、私ハ

遺憾ナガラ中村君ノ修正ニ賛成シナイデ横山金太郎君ノ修正案ニ同意致ス次第デアリマス

○原委員 私ハ先程中村啓次郎君ノ提案ニ係ル修正ニ賛成ノ意見ヲ持ツ者デアリマス、政府提案ノ本案ハ本會ニ於テ遺憾ナク論難セラレタ所デアリマシテ、是ハ申スマデモナイノデアリマス、吾々ハ政府ノ原案ヲ成ベク尊重致ス考デアッタノデアリマス、所デドウシテモ分ラナイ文字ヲ法ニ現シテ置クト云フコトハ出來ナイ、是ガ吾々ノ修正ノ第一根本義デアアルノデアリマス、而シテ本案提案ノ第一眼目ニナッテ居ル所ノ無政府主義ト共產主義ノ取締リ、之ヲ處罰スルノガ根本義デアアル、吾々モ其趣意ニ賛成デアアル、無政府主義ト云ヘバ我國ニ於テハ國體政體ハ殆ド同一デ、共通點ガ澤山アルノデアリマス、又共產主義ニ於テハ私有財産制度ノ根本ヲ破壊スルト云フコトガ根幹ニナッテ居ルノデアリマス、ソコデ政體ヲ變革スルト云フ法文ノ意味ガ極メテ不明瞭デ、是迄ノ政府者自身ノ御説明自體デ既ニ本法案ノ文字ヲ抹殺セラレタモノデアアルト思フノデアリマス、斯ノ如キ明ナル點ニ付テ之ヲ抹殺シ、而シテ是ハ本法ノ體裁デアリマスケレドモ、國體ト私有財産ト云フ點ニ付テハ我が國民ノ傳統的精神ニ照シ、吾々日本臣民ノ血液ニ流レテ居ル觀念カラ申シマシテモ、斯ノ如キコトヲ規定スルト云フ

コトハ不當デアルト思フノデアリマス、斯ノ如キ次第デアリマスカラ第一條ヲ分離致シテ、第一項ニハ國體其モノニ關スル規定ヲ爲シ、第二ニ於テハ私有財産制度ニ關スル規定ヲ爲シ、而シテ斯ノ如ク分離致ス主義ヲ執ツタ以上ハ、刑罰ノ點ニ於テモ自カラ異ラザルヲ得ナイ、ソコデ第一項ニ於テ原案ノ通り十年、第二項ニ於テハ之ヲ七年トスル洵ニ是ハ至當ノ修正案ト考ヘルノデアリマス、ソレカラ第二條ノ協議ヲ爲シタル者ト云フ此文字自體カラ見テモ、是ハ多ク申スマデモナク、法律ヲ作ル場合ニ於テハ、人類ノ生活利益ヲ保護スルコトヲ目的トシナケレバナラヌ、ソレニハ一定ノ明ナル限界ヲ附サナケレバナラヌ、其限界ニ付テ疑ガアルナラバ、是ハ修正シナケレバナラヌ、此協議ト云フ文字ハ是マデノ質問應答ノ結果甚ダ不當ナル文字デアルト云フコトガ發見セラレテ居ル、ソコデ新ニ吾々ハ勸誘ヲ爲シ又ハ之ニ應ジタル者ト、明確ヲ期スル爲ニ斯ノ如ク改メタノデアリマス、第二條以下總テ刑罰ハ第一條ノ主義ニ則リ、第一項ニ牽聯シタモノハ之ヲ重クシ、第二項ニ牽聯シタモノハ輕クスル、斯ウ云フ趣意デアリマスカラ、横山君ノ修正ニ依ル修正案並ニ政府ノ原案ニハ反對ヲ致ス次第デアリマス

○清瀨委員 私ハ本案並ニ修正案ニ對シテ反對デアリマス、斯様ナ意見ヲ持ッ

テ居ル者デアリマス、唯、三派側ノ修正、本黨側ノ修正モ何レモ第一條ヨリシテ政體ノ二字ヲ御削除ニ相成ツタコトニハ敬意ヲ表シマス、私共合法的ニ政體ノ變更ヲ圖リ、合法的ニ私有財産ノ變更ヲ圖ル、之ヲ處罰スルガ如キハ如何ニモ遺憾ト思ヒマシテ、此點ニ付テ吾ノ意思ノ在ル所ヲ各派幹部ノ御諒解ヲ得テ、成ベク一致ノ態度ヲ採リタイト、私一個トシテハ勞力ヲ惜マナガッタノデアリマス、唯、政體ノ一項ニ付テハ既ニ此委員會ニ於テ、各派殆ト一致ヲ以テ削除サレマシタガ、私有財産ノ一點ニ於テ遂ニ協定ヲ見ルニ至ラズ、吾ハ意ヲ達スルコトガ出來ナカッタコトヲ悲ムノデアリマス、唯、更ニ私ハ拋棄シマセヌノハ私共盡力ノ足ラナイ爲デアラウト思フカラデアアル、吾々ノ眞意ヲ能ク諒解下サルナラバ、恐クハ三百人ノ三派並ニ本黨ノ方ミノ中ニハ御同情下サル方モアラウト思フ、又政府ノ方ミモ膝ヲ突合セテ數時間ノ懇談ヲスレバ、内務大臣モ御諒解下サルコトデアルト思ヒマス、ソレ故ニ委員會等ニ於テハ慣例上長キ議論ハ避ケテ居ルノデアリマスガ、此機會ニ於キマシテ私共ノ考ヘテ居ル事ヲ御諒解シテ戴キタイガ爲ニ、數時間ノ御猶豫ヲ願ッテ私ノ考ヘテ居ル所ヲ披露致シタイト思ヒマス

○前田委員長 本會議デモ何レ御ヤリニナルデセウカラ、此處デハ大體ノ意

何デセウカ
○清瀨委員 ソレデハ成ルベク簡單ニ……ソレデ結局問題ノ中心點ハ私有財産ノ問題ニ集ルト思ヒマス、國體ト云フコトハ文字コソ種々使ヒマスケレドモ、本案ノ趣旨ハ一天萬乘ノ陛下ガ統治權ヲ御持チニナルト云フ事柄デアリマスガ故ニ、是ニハ問題ハアリマセヌ、問題ハ私有財産制度ト云フモノ、此モノ、價值如何ニ依ツテ分ルト思ヒマス、デ私ノ反對ノ理由凡ソ三段ニ區別致シタイト思ヒマス、第一ハ私有財産制度ト所有權ト云フコトノ觀念、此觀念ノ相違ヨリシテ本案ノ如キモノガ生レタモノデハナイカ、即チ理論上ノ根據ヨリシテ本案ニ付テ各位ノ御再考ヲ願ヒタイト云フノデアリマス、第二ハ實際上ノ立場、實際問題トシテ私有財産制ノ合法的變更ヲ杜塞スルコトガドウ云フ事ニナルカ、此結果ニ付テ思ヒ及バレタナラバ尙ホ御再考ノ餘地ガアラウト思ヒマス、即チ假ニ之ヲ實際ノ理由ト致シマス、第三ハ法律的ノ立場デアリマス、近頃ノ言葉デ言ヘバ法律技術ト申シマスガ、私ハ本案ノ立法ニ付テ失禮ナガラ粗漏ト申シマス、今日マデニ各種ノ法律ガ出テ居リマスガ、假ニ十年ト云フ刑ヲ科スル法律ヲ斯ノ如ク粗漏ニ編成サレタ法律ハナイト私ハ考ヘテ居ル、以上三項ノ理由ヨリ致シマシテ、本案並ニ修正案ニ向ッテハ絕對

反對セザルヲ得ナイノデアリマス、ソレデ第一ノ私有財産制度ノ觀念デアリマスガ、之ニ付テ小川司法大臣、若槻內務大臣等ノ御説明ヲ能ク伺ッテ見ルト、失禮ナガラ、所有權ト云フ觀念ト私有財産制度ト云フ觀念ヲ非常ニ混同ニ相成ッテ居ルデハナイカ、斯様ニ考ヘマス、所有權ト云フモノハ共產主義ノ社會ニ於テモアルノデス、消費財産ニ付テ所有權ヲ認メ、生産財産ニ付テ個人企業ヲ認メ、適當ト認ムルモノニ付テハ所有權ヲ認メル、所有權其物ノ觀念ハ共產主義社會ニ於テモ既ニアルノデアリマス、故ラニ露西亞民法ヲ茲ニ引例スルマデモアリマセヌ、唯、其所有權ヲ

所有權制度ヲ使ッテ生産組織ヲ個人所有權デアラウト云フコトガ、即チ私有財産制度ガ——例ヘテ言ヘバ所有權ト云フコトハ材木デアアル、私有財産制度ハ家屋建築物デアアルノデアリマス、此所有權ト云フ觀念ヲ應用シテ爲シタル所ノ生産組織ガ即チ私有財産制度デアアル、所有權ハ原料デアアル、私有財産制度ハソレデ作ッタ建設物デアリマス、デアリマスガ故ニ、所有權其物ノ否定ト私有財産制度ト云フ社會制度トノ否定トハ事自ラ別デアリマス、共產主義者デモ無政府主義者デモ所有權自體ヲ否認スル考ヘ持ッテハ居ラス、若シ彼等ガサウ云フ言葉ヲ使ヘバソレハ彼等ノ言葉使ヒノ誤リデアリマス、ナンボ彼等無政府主義者デモ飯ヲ食ハナケレ

反對セザルヲ得ナイノデアリマス、ソレデ第一ノ私有財産制度ノ觀念デアリマスガ、之ニ付テ小川司法大臣、若槻內務大臣等ノ御説明ヲ能ク伺ッテ見ルト、失禮ナガラ、所有權ト云フ觀念ト私有財産制度ト云フ觀念ヲ非常ニ混同ニ相成ッテ居ルデハナイカ、斯様ニ考ヘマス、所有權ト云フモノハ共產主義ノ社會ニ於テモアルノデス、消費財産ニ付テ所有權ヲ認メ、生産財産ニ付テ個人企業ヲ認メ、適當ト認ムルモノニ付テハ所有權ヲ認メル、所有權其物ノ觀念ハ共產主義社會ニ於テモ既ニアルノデアリマス、故ラニ露西亞民法ヲ茲ニ引例スルマデモアリマセヌ、唯、其所有權ヲ

バナラヌ、其食フ所ノ飯ノ所有マデモ否認シテ仕舞フコトハナイ、ソレデ内務大臣司法大臣ナドハ、ソレヲ混同サレテ、ソコニ持ッテ來テ學生時代ニ御稽古ニナリマシタ自然法ノ説ノ、所有權ト云フモノハ、人類固有ノ「インネー」ト「モノ」デアル、ソレデ所有權ノ根本ヲ破壊シテ世ノ中ノ秩序ヲ紊スモノデアル、無論自然法デハサウ云ッテ居ッタ、佛蘭西ノ人權宣言ニモ書イテアル、其意味ヲ以テ所有權ト云フノハ一般ニ狭ク取ラレルヤウニ、天然自然ニソコニアルノデ、之ヲ破壊スルコトハ私有財産ヲ破壊スルコト云フノデアリマスガ、其後段ノ議論ハ自然法學者ノ所有權ニ付テ論ゼラレル、然ルニ此法律案ハサウデナクテ、所有權ヲ原料トシタコロノ社會事實ヲ指シテ、此法律案ハ規定シヤウトシテ居ル、法理學ノ觀念タル所有權ノ觀念ト、社會學ノ觀念タル私有財産制度トヲ一ツヲゴッチヤニシテ居ルノガ誤レル本ト思ヒマス、所有權ハ日本ニモ可ナリ古クヨリアリマス、神武天皇ト申シタイガ、神代ニモアッタデアリマセウケレドモ、私有財産制度ト云フ産業ヲ個人ノ勝手氣儘ニスルト云フ制度ハ、明治以後ノモノデアリマス、昔ノ産業ハ何カト云フト農業デア、農業ノ基礎タル土地ハ此間モ申シタヤウニ、普天ノ下卒土ノ濱悉ク王土デア、ソレヲ拜借シ奉ッテ百姓ガ農耕シタト云フノデ、此時代ハ社會制度ト

シテハ日本ハ私有財産制度デナイケレドモ、此時代ト雖モ所有權ハアッタ、所有權自身ノ法理的ノ否定ト、社會現象タル生産組織ノ否定ト云フコトヲ混同サレテ、私有財産制度ヲ否定スルカ否ヤト云フ問題ノ辯護トシテ所有權ノ理論ヲ借り來リ、所有權ハ人類ニ「インネー」ト「モノ」デアルト云フ、自然法理學者ノ説ヲ此委員會デ説クガ、吾々カラ見ルト誠ニオカシイノデ、誠ニ辛抱シテ御聽キシタヤウナ次第デアリマス、ソレデ私一個トシテモ所有權ノ否定ヲ主張スルモノデナイ、共產主義デモ所有權否定ヲ主張スルモノデナイ、無政府主義者デモ所有權ノ否定ヲ主張スルモノデナイ、唯、ソレヲ原料トシタル社會制度タル今ノ私有財産制度ハ如何カト云フト、茲ニ私ハ頗ル疑問ヲ持ッテ居ル、日本今日ヲ狀態ハ吾々ハ幸ニシテ暖衣飽食トハ行キマセヌガ、不自由ノナイ、寒ケレバ汚イナガラ著物ヲ著テ居ルガ、多クノ窮民ハ食物ガナクテ困テ居ル、小學生徒ヲ見ルト榮養不良ノ子供ガ七分通り、後ノ三分ガ子供ヲシイ榮養ヲ取ッテ居ル、其社會的罪惡ハ何處カラ來タカト云フト、段々探シテ見マスルト、今日ノ私有財産制度ト云フ社會制度ニ欠陥ガアルト云フコトハ蔽フ可ラザル事實デアリマス、此社會制度ヲ改革スルト云フコトガ政治家ノ務デア、宗教家ノ務デア、又吾々議員ノ務デナクテハナラヌ、所有權ヲ否認

シナクテモ此罪惡ノ源ヲ研究シテ之ヲ除カウト云フ、合法ノ人々ヲ排斥スルコトハ玉石共ニ燒クモノデナイカ、ソコデ此個人主義的私有財産制度、悲ムベキ此事實ヲ如何ニ改革スベキカト云フコトニ思至ラヌ者ハ殆ドアリマセヌガ、是ニ思至ッタ人々ニ凡ソ三色ノ種類ガアル、第一ハ山樺君モ能ク「御説明ニナッテ私モ感服ヲシマシタ、此私有財産制度ノ悲ムベキ結果ヲ救済スル第一ハ教化デアリマス、教育ト感化ノ方法デアリマス、多クノ宗教家、哲學者ガ考ヘテ居ルコトハ即チ是デアリマス、第二ハ立法デアリマス、合法主義、吾々ノ許サレタ陛下ヨリ托サレタル立法權ノ範圍内ニ於テ之ヲ改革シヤウト云フ政策合法主義デアリマス、社會政策ト名ケテモ大差ハアリマセヌ、第三ガ教化ト合法ニ依ッテ行ケナイト云フ絶望シタ人ガ行ク途デアリマス、ソレハ即チ暴力デアリマス、教化ト立法ト暴力、此ノ三ツノ人々ハ手段コソ違ヘ、今日ノ社會現象タル私有財産制度ニ付テノ改革デアリマス、ソコデ私ハ恐ラク政府ニ於テモ教化ニ依ル改革、合法手段ニ依ル改革ト云フコトハ御異存ナイ事ト思ヒマス、ソレニ御異存ノアル筈ハナイト思ヒマス、併ナガラ暴力ヲ以テ社會革命ヲスルニ付テハ戰慄スベキモノデア、結果ハ良クテモ手段ガ非常ナ犠牲デアリマス、流血ノ慘ヲ伴フ、第三ノ暴力革命ノミ恐ルベキモノデア

ル、ソレ故ニ暴力ヲ以テ私有財産制度ヲ變更スルト云フコトハ、之ヲ彈壓スルコトニ於テ人後ニ落チマセヌケレドモ、教化感化ニ依ル、又ハ合法ノ立法ニ依ッテ之ヲ改革スルト云フコトハ、私共ガ努メナケレバナラヌ、心アル血ノ通ッテ居ル人ナラバ之ヲヤラナケレバナラヌ、自分一人デ金ヲ儲ケテ暖衣飽食シ、一生ヲ終ルト云フコトハ人類ノ義務デナイ、デアリマスガ故ニ合法的感化、合法的ノ立法、之ニ依ッテ私有財産制度、此社會現象ヲ變革スルト云フコトニ付テハ、私ハ何人モ異存ガアル筈ガナイト考ヘテ居リマス、何故ソレニ異存ガ出來ルカ、實ニ驚入ッタ事ト思フノデアリマス、唯暴力革命ノ恐ルベキ事ニ戰慄シテ、玉石共ニ燒ク、私有財産制度變革ト云フコトガイカヌノダト云ウテ驚キ、周章シテ作ラレタル法律ガ此法律案デナイカ、參考書ヲ頂キマシタガ、各國ノ法律ヲ見テモ、合法的ニ私有財産制度ヲ云々スル事ヲ罰スル法律ハ、地球上一ツモナイ、日本ダケデアリマス、此間支那ノ治安法ト云ウテ新聞ニ載ッタ、支那デモ合法上ノ變革ハ之ヲ認メテ居ル、オカシナ話デアリマス、ソレデ此法律案ノ審議ニ當ッテ政府ノ御答辯ハ違ヒマス、合法上ノ變革ハイケナイカ、個々一ツノ變革ハ、ソレハ合法ナラ構ハナイ、個々ノ變革ハ構ハナイト云ッタノガ内務大臣、ソレカラ金ヲ拂ッテ私有財産制度ヲ廢タルナラ構ハ

スト云フノガ小川司法大臣、是ハ宜イ
事ヲ考ヘテ居ラレル、ソレカラ私ガ「ス
ノーデン」ノ決議案ヲ御見セシテ政府
委員ニ聽イタ所ガ、是ニハ漸次ト云フ
文字ガアルカラ、漸次デ緩和サレテ居
ルカラ、漸次ニ私有財産制度ヲ覆スナ
ラ構ハナイデアラウト、政府委員デア
リマスカラ謙遜シテ答辯サレテ居リマ
ス、此三ツノ答辯ハ其根柢ニ於テ所有
權ト云フ事ト、財産制度ヲ混同サレテ
居ルコトハ共通デアリマス、ケレドモ
各々結果ニ於テモ事實ニ於テモ違ッテ
居リマス、個々ニ一ツ／＼ノ私有財産
制度ヲ變更スルト云フコトハ一體何
ノ事デアアル、私有財産制度ハ一ツノ
モノデアアル、私有財産制度ハ「ソシ
ホール」デアリマセウ、ソレヲ個々ニ
變ヘルト云フコトヲ即チ所有權ト誤解
サレテ居ル、鑛山ダケヲ國有ニスルノ
ハ私有財産制度ノ破壊デハナイ、船舶
ダケヲ國有ニスルノハ私有財産制度ノ
破壊デハナイ、土地ガ既ニサウデア
ル、所有權ト云フコト、私有財産ノ社會現
象ト云フコト、ヲ混同サレテ居ルノデ
アリマスガ、漸次ニ代價ヲ拂ッテヤ
ル、代價ヲ拂ッテヤルト云ハレルノハド
ウデアルカト云フト、代價ト云フモノ
ハオ金デアアル、金錢デアアル、金錢
ガ個人ノ所有ニナッテ、金錢ダケヲ
個人ガ持つノハ私有財産制度デハ
ナイ、金ヲ拂フト云フコトニ於テ既
ニ私有財産制度ガアルト云ハレルガ、
ソレハ間違ッテ居ル、

代價ヲ拂ハウガ拂フマイガ、ソレハ生産手段ニハナラナイ、即チ私有財産制度ノ變革ヲセントシテヤッタ所ノ金錢ハ、ソレヲ生産手段ニ投資スルコトハ出來ナイ、假令金錢ヲ拂ッテ日本全國ノ鑛山、船舶悉クヲ國有ニシテモ私有財産制度ノ變革デアル、小川君ハ金ガ御嫌デナイヤウニ承ッテ居リマスガ、金ヲ拂ッたら私有財産制度ノ否認ニナルカナラヌカト云フコトハ、是ハ間違ッテ居ル、是ハ本來國家ノ生産手段デナイ、全部金錢ヲ與ヘマシテ國有トスル、金ハソレノ生産手段ノ助ケニナリマセヌカラ、金デ日本全國ノモノ、鑛山、鐵道、船舶、瓦斯、電氣總テ全部買ッテシマッテ國ガ持つテ居ッタ所ガ、金ハザク／＼アッテモソレハ皆私有財産制度ハ破壊サレテ、持つテ居ッタ金ハソレ自身ニハ生産ガ出來ヌト云フコトニナル、斯様ナ淺薄ナ考デハイケナイ、ソレデ國家ノ大法典ヲ議セラレルト云フコトハ甚ダ遺憾デアリマス、私モ與黨ノ一人デアリマス、御協議下サレバ肝膽ヲ披イテ私ハ説明ヲ致シタイノハ山ミデアリマシタガ、此處デ其機會ヲ得ズシテ遂ニ本委員會ハ終結ヲ見タヤウナ次第デアリマス、小川君ハ吾ミハ失禮ナガラ淺薄デアルト思フ、金ヲ拂ウテ總テ沒收シテモ——總テ買上ゲテモ私有財産制度ノ變更デハナイ、ソシテ議論ハアラウウ答ガナイノデアリマス、政府ハ「スノーデン」ノ決議ヲ讀ンデ、漸次ト云フコト

ガアルカラシテ金錢ヲ買ハレル、總テノ生産手段ノ要ニ供サレルト言ハレルノデアルガ、フイリッブスノーデン」漸次論ト云フノハ、即チ産業ノ破壊、私有財産制度ノ破壊デアル、假令漸次論デ申シマシテモ、是ハ鑛山、船舶個々ノモノヲ一齊ニヤルト云フコトハ出來ナイ、私有財産制度ノ變更トハ御承知ノ如ク、二十年ノ日子ガ要ルノデ、漸次ト云フコトハ言ハヌデモ同ジコトデアル、デアリマスガ故ニ、英國ノ勞働黨ノ決議ト云フコトハ、矢張私有財産制度ノ變更ヲ目的トシテ居ル、恐ラクハ我國ニ於テ將來私有財産制度ノ變更ヲ行ヘバ、矢張是同ジ行キ方ヲスルモノデハナカラウカト思フ、机ノ上デ社會問題ヲ研究シテ居ル間ハ彼ノヤウナコトデ出來ルヤウデアルガ、一步議院ノ外ニ出ルト云フト悲惨ナル事ハ澤山アル、彼ノ日本人ノ衣服ナドヲ見テ御覽ナサイ、百人ノ中デ九十人マデハ貧乏人デアイル、ソレデ矢張私有財産制度否認云々ト高唱サレルナド、云フコトハ、餘リ世間ノ御交際ガ少イ、一部分ノ有産階級ニノミ私有財産ハアルノデアルガ、ソレガ分ラナイ、ソレデ本案ノ骨子トシテ既ニ是ハ所有權ト云フ法理上ノ觀念、私有財産制度ト、社會學上ノ考トヲ混同サレ、私有財産制度ノ實際ノコトヲ法理上ノ議論ヲ以テサレテ、而モ其法理タルヤ自然法學ヲ以テセラレル、其點ニ於テ第一私ハ本案ノ作成ト云フ

コトハ重大ナル缺點ヲ包藏シテ居ルコトヲ斷言スルコトガ出來ルノデアリマス、是ガ第一項ノ私ノ意見デアリマス、故ニ社會問題モ研究シ、社會學ト云フモノモ研究シ、勞働政策ノ立法政策ニ依ッテ學說ノアルモノハ必ズ之ヲ研究ヲナスベシ、但シ是ハ私共ノ趣旨デ——此質問ヲ致シマシタガ、ズット答ガ行詰ツテ何等回答ヲ得テ居リマセヌ、是ガ第一ノ觀念上ノ錯誤ヲ私ガ申スノデアリマス、第二ハ此實際上ノ問題デアリマス

○前田委員長　マダ時間ガ掛リマスレバ……

○清瀬委員　マダ二、三……

○前田委員長　ソレデハ休憩致シマシテ午後一時開會致シマス

午後零時十五分休憩

午後一時二十九分開議

○前田委員長　休憩前ニ引續キマシテ開會致シマス——清瀬君

○清瀬委員　午前ニ私ハ私有財産制ハ社會上ノ一現象デアルト云フコトヲ説明致シマシタ、ソコデ實際問題ニ入リマスガ、私有財産制度ガ社會上ノ一現象デアルナラバ、此變更ト云フコトハ立法事項ニ相成ッテ來ル、若シ所有權ト云フ觀念ト私有財産制度ガ「アイデシチファイ」サレル、同一ノモノナラバ、所有權ノ否認廢止ト云フコトハ憲法ノ明文ハ兎モ角モ、人間ノ合理性ニ

午後零時十五分休憩

午後一時二十九分開議

○前田委員長 休憩前ニ引續キマシテ
開會致シマス——清瀨君

開會致シマス——清瀨君

○清瀨委員 午前二私ハ私有財産制ハ

社會上ノ一現象デアルト云フコトヲ説

明致シマシタ、ソコデ實際問題ニ入リ

マスガ、私有財産制度ガ社會上ノ一ノ

現象テアルナラバ、此變更ト云フコト

立法事項ニ相成テ來ル、若シ所有權

ト云フ觀念ト私有財産制度カ一アイテ

「サレハ 同一ノモノナラ

去、用文、三、角、三、人、間、今、里、主、三、

海山石一角二

訴ヘテ容易ニ出來ルモノデモアリマス
マイ、又政府委員モ度々指摘サレタヤ
ウニ、我國デハ憲法第九十七條ト云フ
モノガアル、此解釋ニ付テハ餘地アリ
マスケレドモ、憲法ノ正面カラ見テセ
既ニ所有權ノ文字ガ現レテ居ル、左様
ニ法律問題ヲ持ッテ行カヌデモ、人間ノ
生活ガ所有權ト云フ此權利關係ヲ否認
スルコトハ、人間ノ合理性ニ訴ヘテ容
易ニ出來ナイコトデアリマス、併ナガ
ラスノ如キ私有財産制ト云フノハ所有
權ヲ原質トシタ——原料トシタ一ノ建
物デアアルト云フコトデアアルト、此私有
財産制ノ變革ト云フコトハ社會事象ノ
一デアアルカラ、立法ヲ以テ變更シ得ル
餘地ガ存スルノデアリマス、果セル哉
政府委員モ有識力無識力、矢張
略、同様ノ所マデ御説明ニナツテ居ル、
所有權ハ憲法ノ規則ニアルノデモ民法
ノ規則ニアルノデモナイ、明治大正ヲ
通シテノ澤山ノ法律ノ中ニアル、此所
マデ政府委員ガ言ハレタ、有識力無
識力、殆ド近クノ所マデ言ツテ居ル、
其通リデアリマス、憲法二十七條ヲ捉
ヘテ是レ私有財産制ナリ、民法ノ二百
七條ヲ捉ヘテ是レ私有財産制ナリト云ッ
タナラバ誤ッテ居ル、皆所有權ノ制度デ
ス、所有權自身ヲ否認スルコト云フコト
ハ憲法ノ規則如何ニ拘ラズ、人間ノ合
理性ガ之ヲ許サナイ、ソコデ私有財産
制度ハ斯ノ如キ法理上ノ所有權ノ觀念
以外ニ立ツ所ノ社會事象デアツテ、此

社會現象ガ今日ノ貧困問題ノ根元ニ關
係スルコトハドノ道カラ入ッタ人デモ、
宗教カラ世ノ中ヲ見タ人デモ、法律カ
ラ世ノ中ヲ見タ人デモ、教育事業カラ
世ノ中ヲ見タ人デモ、結局考ヘテ行ク
ト各國ノ人類ヲ襲フテ居ル貧困問題ト
云フモノガ、私有財産制度ニ關聯シテ
居ル所ニ想ヒ到ラヌ人ハナイ、犯罪ノ
原因、政府委員ハ口ヲ極メテ今日ノ犯
罪ハ少年感化ノ方デヤツテ居ルト秘密
會デ御説明ニナツタガ、何一ツ見テモ今
日ノ犯罪、乞食、淫賣、詐欺、強盜、悉ク
其背面ニハ貧困ノ社會問題ヲ孕ンデ居
ルノデアリマス、之ヲ解決スルニハ其
原因タル私有財産制度ニ向ッテ一顧ヲ
與ヘナイト云フ譯ニハイカナイ、而シテ
憲法カラ云ツテモ、人間ノ合理性カラ云
ツテモ、私有財産制度ハ改正シ得ルモノ
デアアルカラ、立憲國ニ於テ合法手段、立
法手段ニ依ッテ此貧困ノ原因ヲ芟除シ
ヤウト云フノデ起ツタノガ勞働黨派デ
アリマス、憲政會ノ方モ、革新俱樂部
ノ者モ、此問題ニ付テ觸レイイデハ
ナイ、既ニ御互ノ政綱ニハ社會政策ノ
徹底ト云ツテ居ル、吾々ハ勞働黨派デハ
アリマセヌケレドモ、此問題モ既ニ一
等ノ疑ナク私有財産制ノ變更ハ議會ノ
立法ニ依レバ出來ルト云フコトガ、各
國政治家ノ確信デアツテ其基礎ノ下ニ
勞働黨派ト云フモノガ起ッテ居リマス、
憲法ノ明文ハ國ニ依ッテ區々、世界中デ

五十程國ガアリマス、憲法ノ數ガ五十、
一々明文ハ違ッテ居ルケレドモ、何所ノ
國ノ憲法モ此點ニ於テハ一ツデ、私有
財産制ヲ議會ノ立法デ改廢出來ナイト云
フ憲法ハ一ツモナイ、サウデナケレバ憲法
ノ價值ガナイ、デアリマスカラ各國ノ政治
家ハ今ヤ議會ノ立法手段ニ依ッテ漸進主
義ニ私有財産制ヲ否認シヤウカ、一舉ニ
之ヲ否認シヤウカ、方法程度コソ違ヘ、
私有財産制度ノ否認ヲ志ス者ハナイ
ノデアリマス、若モ財産制度ノ否認ソ
レ自見ガ犯罪ニナルト云フナラバ、漸
進的ニヤルコトモ亦犯罪デナケレバナ
ラス、人殺ハ犯罪デ、擄殺——漸進的ニ
人ヲ殺スノモ犯罪デナケレバナラス、漸
次ト云フ文字ガアルカラ私有財産制ノ變
更ハ宜イト云フノハ徹底シナイ、私有
財産制度ガ議會ノ立法デ變更シ得ルモ
ノデアッタナラバ、ソレハ漸次ニ百年掛
ツテ變更シテモ、矢張結社ヲ目的トス
レバ是亦犯罪トシナケレバナラス、ソ
コデ私ハ疑ヲ持チマシタ、言葉ヲ以テ
色々御質問申シマシタ所デ押問答ガ續
キマスガ故ニ、私ハ私ノ作ッタモノデナ
ク、或本ヲ持ッテ來タ、ソレハ世間公知
ノ政黨ノ政綱ヲ茲ニ六ツバカリ並ベ
テ、其中ノ四ツハ學者ノ私案デアリマ
ス、其中ノ二ツハ現ニ存在スル所ノ政
黨ノ政綱デアアル、此政綱ヲ御示シ致シ
タ所ガ、政府ガ御研究ノ上デ此治安維
持法ニハ抵觸シナイト云フコトヲ御斷
定ハナサラナイ、是ガ即チ實際問題、ソ

レデ一體宜イノデアリマスカ、成程日
本ノ國ハ萬世一系ノ國體ト云フコト
ハ、是ハ外國ト違ヒマス、日本ノ憲法ノ
外國ト違フ所ハソレデアアル、其一點ハ
違フガ、財産ノ自由、人權ノ自由ト云フ
コトハ世界共通デナケレバナラス、吾
吾ハ先進國トカ、或ハ先輩國トカ申シ
マスガ、議院政治ヲヤツテ居ル他ノ國々
デ勞働黨ガ安全ニ出現シ、政綱政策ト
シテ産業ノ民衆化、土地ノ公有ヲ掲ゲ
テ結社ヲシ、活動シ得ルヤウナコトガ
世界共通ノ憲法ノ解釋デアアル、豈獨リ
東洋ノ君主國、吾々ノ憲法ダケガ産業
ノ民衆化ヲ禁ズル憲法デアアルトハドウ
シテモ考ヘラレナイ、違ッテ居ル所ハ國
體ダケデアアル、議院政治ノ一點ニ至ッテ
ハ共通デアアル、彼ノ國ニ於テ斯ノ如キ無
產政黨、勞働政黨ガ政綱ヲ掲ゲテ天下
ニ活動シ、世ノ中ノ民衆ノ貧苦ヲ救ヒ、
人類世界ヲシテ理想ノ世界トシヤウト
彼等ガ努メル以上ハ、吾々モ努メルコ
トヲ許サレナケレバナラス、日本既存
ノ社會狀態ニ於テ満足ヲシテ、安穩ニ
シテ居ル人コソ現狀維持、保守的精神、
此安逸ニ流レルコトハ喜バシイコトデ
アリマセウ、ケレドモソレハ日本國內
僅バカリノ「ブルジョア」階級ヲ除イテ
ハ、運命ヲ開拓シナケレバナラス人ニ
充チ滿チテ居ル、世間ト云ツテ廣ク申ス
ト漠トシテ居リマスカ、御見受ケスル
所政府委員、議員ハ皆有產社會ノ方デ
アル、併シ諸君ノ御親戚其他ヲ見レバ、

女中モ使ヘナイ人ガ少クナイト思フ、此運命ヲ開拓スベク今ノ私有財産制度ニ付テ變更ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、吾々ノ心ノ中ニ衝動スル國民ノ感覺デアル、是ハ日本ト外國ト違ッタコトハナイ、然ルニ政府ノ御方ハ此六ツノ政綱ヲ御覽ニナツテ説明ヲ付ケヌト分ラヌ、天然利源ノ獨占權、是等ノモノ、社會化ヲ主張シタ「イリ」ノ社會政策ノ綱領ト云フモノハ、其内容ヲ極メヌト本法ニ抵觸スルカセヌカ分ラヌ、斯ウ仰シヤル、又產業ノ民主統制ヲ主張スル所ノ英國勞働黨ノ政綱ニ付テモ亦同様デアル、ソレカラ國民必需品供給ノ確保主要產業、殊ニ鑛山ノ社會化ヲ主張スル所ノ獨逸民主黨ノ政綱ニ付テモ同様ナコトヲ答ヘラレテ居ル、所有權ノ否定ナラバ先ニ申ス所ノ人間ノ合理性ニ訴ヘレバ容易ニ出來ルコトデアル、然ルニ所有權ヲ以テ構成シタル私有財産制度ハ立法ヲ以テ變革スル、社會民主黨ノ此ノ私有財産制度ノ政綱ニ付テ答辯ヲ躊躇スルト云フノハ何事デアルカ、「コンクリート」ニ申スト普通選舉ノ實行ノ曉ニハ日本ニ勞働的ノ色彩ノ政黨ノ現ハレルコトヲ是デ撲滅シヤウ、問題ハ此點デアル、具體的ニ云ヘバ憲政會、革新俱樂部ナドノ人が國民生活ヲ研究シテ、資本主義制度ニ向フテ一撃ヲ加ヘルヤウニ變化ヲシテハナラヌト云フコトデ、既成政黨ヲシテ進ンデ徹底的ニ社會政策ヲ實行スルコトヲ得ザラシメ、新興政黨ト云フモノハソレヲ政綱ニ掲ゲテ天下ニ爭フト云フコトハ出來ナクナル、新勢力撲滅案ト私ハ之ヲ稱スルノデアリマス、私ハ言葉ヲ勵マシテ之ヲ言フノデハナイ、政府委員ガサウ仰シヤツテ居ル、六ツノ政綱ニ向ッテ何レモ御答ガナイ、一體私共ガ諸君ト共ニ長ク普通選舉運動ヲ致シタノハ何ノ爲ノ必要デアッタノカ、唯、選舉スル者ノ數ガ殖エル、數ノ問題デアッタノカ、質ノ問題デアッタノカ、之ヲ實行シテ眞ニ此代議機關ニ國民生活ノ聲、此席ニ國民ノ聲ヲ叫バシメル方法デナカッタノデアルカ、一方ニ於テ普通選舉ヲ實行シタナラバ、他方ニ於テ新政黨ノ擡頭ヲ抑壓スル、是ガ即チ其適法デアル、能ク政府委員ハ世間ハ誤解シテ居ルト仰シヤル、私ハ會テ言葉答メヲ致シタコトハアリマセヌケレドモ、如何ニモ聞捨テナラヌ、此法律ハ勞働運動者ニハ適用シナイカ、世間ガ誤解シテ居ルト仰シヤル、是ガ誤解デアル、今日ノ勞働團體ノヤツテ居ル事ハ今迄ハ勞働賃銀ノ値上ゲデアッタケレドモ、勞働運動ノ目標ハ賃銀ノ値上ゲ、時間制度ト云フバカリデナイ、勞働者ノ地位ノ改革デアリマス、更ニ徹底スレバ產業ノ民衆化デアル、主要產業ノ國有デアリマス、小作運動ハ小作料ヲ上ゲテ吳レト云フバカリガ趣意デハナイ、憐ムベキ小作人ヲ人間ニスルニハ、一ノ道ハ之ニ土地ヲ與ヘルカ、他ノ道ハ土地ヲ國有ニシテ平等ナラシメルト云フコトデアル、政府ハ世間ガ誤解シテ居ルト仰シヤルケレドモ、此法律ヲ讀ンデ政府ノ説明ヲ聞クト、今ノ勞働運動、小作運動ニハ此法律ガ適用サレナイト仰シヤル、委員會デハ適用ガアルガ如ク説明シテ置イテ、世間ニ向ッテハ世ノ中ハ誤解シテ居ルト仰シヤツテ居テモ、是ハ言葉ノ上ノコトデアリマス、ナンボアナタ方ガ勞働者ニハ之ヲ適用セヌト仰シヤラレテモ、先日ノ御答辯ニ依ルト云フト、英吉利勞働黨ノ政綱ナリ、英吉利勞働黨ノ決議案ハ之ニ抵觸スルデアリマセヌカ、此政綱此決議案ガ抵觸スル以上ハ、是ト同様ナル政黨ヲ日本デ作レバフン縛ラレルト云フコトニナル、同様ナル決議案ヲ政綱トシテ天下ニ呼號スレバ、同ジク警察ニ縛ラレルコトニナル、小作制度ノ解決手段トシテ主要ナル產業ヲ國有ニスル、土地ヲ國有ニスルノハ所有權ノ否認ト仰シヤル、場合ニ依ッテハ土地ヲ國有ニシテ從來ノ所有者ニ使用權ヲ許スト云フ案モアル、ソレモ一案デアル、尙ホ以上ノ案ガ出テ來ルカモ知レヌ、是等ノコトハ夢ノ世界ニ話ス夢物語デハナクシテ、吾々ノ脚下ニ燃エツ、アル活言デアリマス、勞働運動家、社會運動家ハ雜誌ニ公開演說ニ致シテ居ル、アナタ方ハ演說會ニ御出ニナラヌ、協調會館デモソコヲ演說ヲ聽イテ御覽ナサイ、現ニ此法律ニ適用サル、所ノ出版物が澤山アルノデハナイカ、ソレヲ勞働運動ニハ適用スルモノデハナイ、オ前達ガ誤解シテ居ルト仰シヤル、誤解ノ二字ヲ以テ此院議ヲ瞞化サレテモ滿天下ノ人ミヲ瞞化スル譯ニハ行カヌ、本案ガ實際上ニ危險ナリト云フノハ是ヲ言フノデアリマス、他ノ委員諸君ノ御希望モアリマスルガ故ニ諄クハ申シマセヌ、第二ニ私有財産制ハソレ自身憲法ニ認メタ制度デモナク、ソレ自身人間ノ合理性ノ制限ヲ持ッタ所ノ制度デモナイ、今日ノ社會現象デアアル、社會現象ノ一ツデアアル、政府ノ言葉ヲ以テ言ヘバ明治大正以來ノ法律規則カラ成ッタ制度デアアル、ソレ故ニ今マデノ道理ナレバ議院ノ立法政策ヲ以テ之ヲ改廢シ得ルノデアアル、且ツ立法政策ヲ以テ改廢シ得ルコトガ國家人類ノ爲デアアル、ソレニモ拘ラズ其意味ノ改廢ヲセント欲スル制度ガ出來ルナラバ、私有財産否認ノ制度トシテ此法律ノ結果フン縛ラレルゾト云フコトガ實際ノ結論デアリマス、私ノ論理ニ一點ノ連續ヲ缺イタ點ガアリマスカ、洵ニ昭々乎トシテ是亦日月ノ如キモノデアアル、此法律ハ事荷モ私有財産制ニ關スル根本ト政府ノ方デハ言ハレル、私有財産制ニハ根本モ何モアリハセヌ、私有財産制ハ一ツデアアル、根本モナケレバ末モナイ、私有財産制ハ唯一ツ主要ナル產業ガ個人ノ任意ニナルト云フ一言ガ私有財産制デ、根本モ末モアリハセヌ、

ソレニ一指ヲ染メル所ノ結社ト云フモノヲ彈壓シ、之ヲ變革セントスル所ノ演說ヲ禁ジ、之ヲ變革セントスル所ノ文章ヲ罰スルト云フノガ即チ此案ニナッテ參リマスカラシテ、吾ミガ茲ニ熱心ニ此案ノ阻止ノ爲ニ活動スルノハ、憲法ニ牴觸スル、法律ニ牴觸スルト云フ空理空論ノ爲ニデハナイ、之ヲ實施サレルナラバ折角ノ普通選舉ノ實行ガ滅茶苦茶ニナル、單リ之ヲ恐ル、ノミナラズ、尙ホ是ハ本田義成君カラモ指摘サレテ居リマスガ、斯ウ云フモノガ實際ノ法律トナッテ河崎政府委員ノ如キ賢明ヲ以テシテモ此法案ノ說明ガ分ラスト云フノニ、警察官ガ演說會ニ出テ行ッテ、鉛筆ヲ以テ好イ加減ナ速記ヲシテ居ル、彼處ノ演說會デハ私有財産制ノ否認ヲ申シテ居リマス、警察官ハ之ヲ署長ニ報告スル、署長ハ之ヲ檢事局ニ移牒スル、直グ演說者ヲ逮捕スル、會場ハ忽チニシテ紛亂ヲスル、紛亂シタ群集ハ道路ヘ出テ騒ギ、警察官ハ檢束ヲスル、斯ノ如キ事ガ瀕々起ルト云フ結果ハドウナルカト云フト、益、人心ハ惡化シ、今マデ日本ノ國民ハ官僚閥族ト云フモノヲ敵ニシテ居ッタガ、サウデハナクシテ、政府資本家ト云フモノヲ敵ニシテ今カラ闘フト云フ時代ガ出テ來ル、ソレガ私ハ第二ノ効果デアラウト思ヒマス、況ヤ此法律ハ「スバイ」ヲ自由ニ驅使シテ、自首シタ者ハ刑ヲ免ズルト云フ、初カラ自首スル覺悟デ

其團體ニ飛込シテ、中ヲ様々ニ引繰リ返シテ好イ加減ノ潮時ヲ見テ之ヲ監視總監ニ御申告申上ゲル、ヨモヤ監視廳モ「スバイ」ヲ使ッタコトハナイトハ仰シヤイマスマイ、「スバイ」ヲ自由自在ニ驅使シテ思想團體、勞働團體ヲフン縛ル、ソレデ事ガ成ッタト思ッテ居ラル、ト云フト非常ナ間違デアアル、人ハ縛ルベシ、思想ハ縛ルベカラズ、益、諸君ノ恐レラル、ヤウナ思想ガ傳播ヲ致シテ、私不祥ノ言ヲ爲ス者デハアリマセヌガ、獨逸ノ末年、露西亞ノ末年ノ如ク、社會改革ヲセントスル熱血アル男兒ハ、晝間之ヲ協議セズシテ夜陰密カニ會合シ、通常ノ部屋デハ相談セズシテ地下室デ密議ヲ以テ致シ、言論デナク暴力ヲ以テ致スト云フコトニナラヌトモ限ラヌ、社會改革ノ方法ハ前ニ申シタヤウニ教化ト立法トノ合法手段デアリマスガ、政府ノ立案ヲ見ルト教化ニ依ル社會改革モ、立法ニ依ル社會改革モ、暴力ニ依ル社會改革モ、三ツトモ等シク私有財産ノ否認トシテ同ジ刑ニ處セラル、ノデアリマス、一層ノコト手取り早ク暴行デ行カウカト云フ者ガ出テ來ストモ限ラヌ、何ノ爲ニ合法ニ依ル私有財産改革案ヲ政府ハ十年ヲ以テ彈壓サレルノデアリマス、恐ラク政府ハ此出發點ニ於テ非常ナ錯覺ガアルノデアラウト思フ、私有財産制ソレ自身ガ良イモノデアルカラ、ソレヲ惡ク言フコトハ即チ不法デハナイカ、手

段如何ニ拘ラズ不法ダ、斯ウ云フ考デ居ラル、コトハ歷々トシテ此間カラノ答辯デ分ッテ居ル、ソレハ併ナガラ間違ッテ居リマス、日本ノ私有財産制度ト云フモノハ五十年間モ變更ノナカッタ制度デアアル、ソレヲ皇室ニ對シ奉ル所ノ國體——陛下ノ御地位ト比ベテ同ジ刑ヲ以テ所罰スルト云フコトハ何事デアルカ、資本家ヲ擁護スル所ノ鐵柵ハ陛下ヲ擁護シ奉ル鐵柵ト同一ニナッテ居ル、資本家ノ僭越ト言ハズシテ何ゾヤ、政府當局ガ資本家ニ阿ネルニモ程ガアル、此點ニ於テ本黨ガ國體ノ維持ノ爲ノ犯罪ト、資本家擁護ノ爲ノ犯罪トヲ二項ニ分類サレタコトハ、寧ロ賢明デアリマス、唯、併ナガラ御趣意ハ先刻非公式ニ承ッタガ、暴力ニモ條件ガ附イテ居リマセヌガ故ニ、御趣意ハ相當承ッタケレドモ、暴力デナイ所ノ社會變革モ矢張立法司法ノ實際トシテ捲込マル、虞レガアルノヲ遺憾ト致シマシテ、マダ之ニ追隨スルノ決心ヲ致シテ居リマセヌ、私有財産制ヲ否認スルダケノコトガ法文ニ現ハレテ居レバ宜イ、吾ミガ代議士トナッテ——清瀨一郎ハ私有財産制ヲ辯護スルノデアアル、ト言ッテ置イテ、後デヤッタ時ハドウスル、矢張今ノ本黨ノ御案ノ中ニモアルヤウニ考ヘマスケレドモ、一步進シテ大ビラニソレモ罰スルト云フ意見ニハ私ハ追隨スルコトハ出來ナイ、政府委員ハ色々講釋シテ居ルケレドモ、此我國ノ貧困、罪

惡、犯罪ノ問題ヲ解決スルノニハ、ドウシテモ私有制度ニ調節ヲ加ヘネバ、解決出來ルモノデハナイト云フコトハ私ノ信念デアリマス、此事ハ此儘ニシテ置イテ、日本内ノ貧民ハドウシテ改革スル、前車ノ轍ヲ以テ後車ノ戒トナスベシ、佛蘭西デモ、英吉利デモ、資本主義國家ハ皆其通りデアリマス、英國ハ我國ヨリ總テノ事ガ先ダ、革命モ先ニ起ツタ、帝國主義モ先ニ起ツタ、英國ノ例ヲ見レバスッカリ我國ノ將來ハ此處ニ映ッテ來ル、彼ノ天下ノ富強ヲ以テ任ジテ居ル英國デ失業業者ハ年々五十萬ヲ下ラナイ、否下ラナイデコロデハナイ、今日ニ至ッテハ三百萬ノ失業業者ガ出來テ居ル、「スノーデン」ノ言葉ヲ引イテ言フ迄モナク、皆前者ノ失敗デアリマス、能ク世間デハ議會ハ安全辯ト稱シテ居ル——是モ先刻ノ男ト女ノ事柄ノ譬デアリマスガ、安全辯ト云フノハ議會ガ無カッタナラバ、不平アルモノハ言ヒ得ズ、暴力手段ニ行キ改革ヲ圖ルカラシテ、議會ノ方デ以テチャント改革シテ行クト云フト、大體革命ト云フモノヲ伴ハズシテ統治ノ進展ヲ致スト云フノガ、即チ議會ノ安全辯ト云フコトノ意味デアリマス、今此暴力ヲ以テセズ、立法ヲ以テ社會ヲ改革スルコトサヘモ禁止サレルト云フコトニナレバ、勢ヒ暴力ニ訴ヘル者ガ出テ來テモ是亦致シ方ガナイト云フコトニ相成ルノデアリマス、能ク再思三考サレンコトヲ私ハ衷心希望

致シマス、第三ニ私ハ法律ノ事務ニ從事シテ居リマスガ故ニ、本案ノ技術的ノ缺陷ヲ茲ニ申上ゲルニ止メマスガ、本案ニ付テハ尠クモ十一箇條ニ互ル技術的錯誤ガアルト云フコトヲ指摘セザルヲ得ヌノデアリマス、斯ノ如キ錯誤ガアル案デアリマスガ故ニ、先刻モ一言致シマシタウニ、ドウカ出直シテモウ一度考ヘテ立案ナサイト云フコトガ其一ツデアル、デ之ヲ逐次簡單ニ申上ゲマス、第一本法ニ於テ合法的ノ私有財産否認迄モ罰セラレルノハ、内務大臣ノ考デハ、又司法大臣其他言ハレタ通り、合法的ノ自身ガ惡イノデハナイケレドモ、合法的ノ政改革ヲ是認スルト云フト、彼ノ革命者流ハ名ヲ合法的ニ藉リテ——議會政治ヲ是認スルト云ツテ、其實社會革命ヲ唱道スル者ガ出テ來ル、ソレデハ取締ガ附カヌカラ、取締便宜ノ爲ニ此條件ヲ削ッタノダ、斯ウ云フコトヲ仰シヤル、サウ仰シヤルカト思フト、一方デハ法案ハ目的犯デアル、目的ナケレバ罰セヌト斯ウ仰シヤル、凡ソ世ノ中デ犯罪ヲスル者ハ是カラ犯罪ヲシマスと言フ奴ハ無イ、詐欺スル奴ガ今カラ詐欺シマスと言フ奴ハ一人モ無イ、本法ノ立法ノ趣旨モ、一方ニ言ツテ居テ他方面デ暴力手段ニ出ルヲ目的トスル者ナラバ、裁判所ハ之ヲ暴力ナリト認定スルト云フコトハシナイ、山岡局長モ此事ハ能ク知ッテ居ラレ、山岡局長モ此間モ今日ノ刑法ハ昔

ノ刑法トハ違ッテ人格主義デアル、人ノ人格ヲ認メテ罪人ヲ取締ルノデアアル、形式ニ拘泥スルノデハナイト云フコトヲ切論サレテ居ル、新刑法ヲ作ルノモ其意味デアッタノデアアル、ソレ故ニ此狡猾ナル革命者流ハ名ハ議會政治ヲ是認スルト言ウテ、實ハ革命ヲ唱道シテモ、是ハ社會革命ヲ唱道スルモノナリト裁判所ニ於テハ考ヘル、サウ云フモノニ付テモ矢張ソレモ暴力手段ノ革命ナリト認定スル餘地ハ十分デアル、ソレハ何處ニ行ッテモ日本中ノ裁判所ハ皆ソレヲヤツテ居ル、熊谷君モ小川司法大臣モ皆同僚デアル、デアアルカラ今日ノ裁判所ノコトハ能ク知ッテ居ラレル、又此裁判所ニ出入スル者デ此關係ヲ知ラナイ者ハ一人モナイ、併シ内務大臣ノミハ自ラ法廷ニ立タレタ經驗ヲ有シテ居ラナイカラデモアラウガ、此處ノ暴力ト云フコトヲ書クト今ノヤウナ時モ暴力ニナラヌト云フコトヲ言ハレタ、議會政治ヲ是認スルト云ツテ其實破壊スルモノガアルト云フコトヲ御心配ナサツテ、ソレデ之ヲ以テ取締ヲヤルト云フハレル、斯ウ云フコトヲ置カヌト云フト取締ガ附カヌト仰シヤル、ドウモ立憲政治ノ根柢ヲ破壊シ、審議ノ自由ヲ破壊スル、本末顛倒ト申スノハ即チ是デアリマス、本法ニ技術上ノ大缺陷ガアルト云フノハ即チ是デアアル、例ヘバ暴力手段ヲ以テスル社會革命ノミハ之ヲ罰スルト書イテ置カレタ所デ、決シ

テ差支ハナイ、差支ハナイガ、今日ノ裁判ハ左様ナ幼稚ナモノデハナイノデアリマス、是ハ政府カラ御出シニナッテ居ル所ノ調査資料ヲ御覽ナサツテモ分ル、外國ノ立法例ガ幾ラモアルデハアリマセヌカ、政府ノ役人ニ騰寫版デ刷ラセバカリガ能デハナイ、實質ヲ能ク御覽ナサイ、御覽ニナレバ直グ分ル、茲ニ「ケンタッキー」州ニハ「犯罪の産業革命主義」トハ政治的目的ヲ完成スル手段トシテ——犯罪肉體の暴行、放火、財産破壊、威嚇、狂暴ヲ遂行援助ヲ勸告スル行爲」之ヲ違法行爲トシテ居ル、此違法行爲ノ爲ノ宣傳結社ヲ處罰シテ居ル、其次ニ「ミネソタ」州ノ立法ガアリマス、第一節ニ犯罪の社會革命主義ノ定義ト云フモノヲ擧ゲマシテ、「犯罪の社會革命主義」トハ政治的目的ヲ完成スル手段トシテ犯罪、怠業(本令ニ使用スル此語ハ被傭人が傭主ノ財産ニ加フル惡意的毀損又ハ危害ヲ意味スルモノトス)斯ウ云フ註釋ヲ致シマシテ、暴行其他違法ノ兇暴方法ヲ言フノデアアル、此兇暴ナル方法デ産業革命ヲヤルノガ、即チ此法ノ罰スル所デアアル、暴力手段ヲ前提トシタル財産否認ヲ考ヘテ罰シテ居ル、更ニ他ノ州デアリマシタガ、獨逸ノ一千九百二十一年ノ反動革命ヲ鎮壓スルノニ、「カプ」ノ反動革命ヲ鎮壓スル際ニ、緊急大總統令ヲ以テ發布セラレタモノガアリマスルガ、之ヲ見マシテモ暴行ヲ以テ政體、日本デ謂ヘバ

政體ヲ變更シ、私有財産制ヲ變更スルモノ、又此趣意ノ宣傳ト結社ヲ處罰スルト云フノガ獨逸ノ立法デアリマス、世界中何處ノ立法ヲ見テモ取締ニ便宜ダカラシテ、立法ニ依ッテ私有財産ヲ否認スル者ヲ引縛ッテシマフ、サウ云フ國ハ先刻申シマシタ如ク地球上ニハ五十ノ國ガアリマスケレドモ、此日本ヲ措イテハ他ニ一ツモ無イ、ヨクモコンナ輕卒ナ亂暴ナ大謫ミナ法律ガ出來タモノデアルト私ハ驚キ、且ツ驚カザルヲ得ヌノデアリマス、何ノ爲ニ斯ウ云フ參考資料ヲ能ク御刷リニナツタカラ疑フノデアリマス、是ガ立法技術缺陷ノ第一デアリマス、第二ハ國體ノ文字ヲ御使ヒニナッテ居ルコトデアアル、是ハ私我ガ國ノ天皇ガ統治權ヲ總攬シ給フコト、之ニ付テ異存ガアルノデハアリマセヌガ、國體ト云フ文字ハ少シ文字トシテハ不十分デアル、ソレハ色ミナ風ニ見ラレマスルガ故ニ、他ニ換ユベキ言葉ガアッタナラバ御研究ナサツテ、モットの確ナ言葉ニシタル方ガ宜イト思フノデアリマス、ト云フノハ凡ソ國體ト云フ言葉ニハ二ツノ系統ガアリマス、一ツハ支那系統ノ解釋デ、一ツハ歐羅巴系統ノ解釋デアアル、神皇正統記其他國學者流ハ言ツテ居ル、國體ハ要スルニ君ニ忠ナルハ父母ニ孝、父母ニ孝ナルハ君ニ忠、是レ我ガ國體ノ精華デアアル、教育勅語ニモ是レ我ガ國體ノ精華ナリト言ハレテ居ル、併シ此所ノ國體ト云

フ文字ハサウ云フ意味デナイノハ分ッ
テ居ル、歐羅巴ノ方面カラ傳來シタル
言葉デアルト言ハナケレバナラヌ、之
ヲ外ニシマシテ國體ト云フ言葉ガ有
ルカト云フノニ、英語ニモナイ、佛蘭
西語ニモナイ、唯、國體ト云フ言葉ニ
相當スルモノ、アルノハ獨逸語ダケデ
アル、戰前ノ獨逸ハ聯邦デアリマス、奧
太利ハ「デュアル、モノキー」結合王
國デアリマス、是等ノ國ニ於テハ聯邦
ト言ヒ、結合國ト云フノガ國體、即チ
「スターツフォルム」デアアル、國ノ形デ
ス、聯邦ヲ以テ國ガ出來テ居ル、結合王
國デ出來テ居ル、サウ云フ國ノ體裁ト
云フモノヲ「スターツフォルム」ト申シ
テ居ル、ソレガ我國ノ國體ニ當ルノデ
アリマス、ソレヲ元ノ穗積八束先生ハ
我國デ以テ國體ト云フ言葉ニ使用サレ
テ居ルノデアリマス、斯ノ如ク申スト
云フト實ハ國ノ體裁ト云フコトニナ
ル、曾テ日本ハ朝鮮ト結合國ノ如キ形
ニ相成ッテ居リマシタ、是ハ一ツノ國體
デアアル、國體ノ變更デアアル、斯ウ云フ風
ナ意味ヲ強クシテ、天皇ノ統治權ガ即
チ國體ダト云フコトハ少シマダ炳乎タ
ル意味デハナイ、人ニ依ッテハ矢張統治
權ハ國家ニ在ッテ天皇ハ之ヲ總覽スル、
天皇機關説ト云フコトモアル、デアリ
マスカラ政府ノ言ハント欲セザル所ハ
吾ニニ説明デ以テ諒承致シテ居リマ
ス、居リマスケレドモ此國體ナル言葉
ハ今マデハ日本ノ「フエビアンソサエ

チー」カラ出版シタ著書カラ來タ所ノ
語デ——法令全書ニハ未ダ使ハレタコ
トノナイ所ノ國體ナル文字ヲ使ハズ
ニ、既ニ憲法ニ於テ使ッテ居ル所ノ天皇
ノ統治權ト云フ言葉ヲ何故御使ヒニナ
ラヌカ、ソレナラバ洵ニ明瞭デアアルノ
ニ、物數寄ニ、ハイカラニ二ツノ意味ノ
アル國體ノ文字ヲ態ニ御使ニナタト
云フコトハ、私ハ賢明ナル法律技術デ
ハナイト考ヘマス、寧ロ是ヨリモ先年
ノ過激社會運動取締法案ガ使ッタク
ニ、朝憲案亂ト言ハレタ方ガ明瞭デア
ル、是ハ明治十三年頃ヨリ法廷ニ於キ
マシテ數回ノ裁判例ニ於テ朝憲案亂ノ
何タルカハ明ニナッテ居ル、法律家ハ皆
知ッテ居ル、國體ト云フ言葉ハ支那系統
ノモノト歐羅巴系統ノモノトノ二ツア
ル、其一ツノ「スターツフォルム」ハ國ノ
形ト云フコトデ、天皇ノ統治權ト云フ
コトニハ少シ縁ガ遠イノデアリマス、
斯様ニ「アンビギユアス」ナ言葉ヲ使ハ
ズニ、寧ロ憲法ニ既ニ書イテアル、天皇
ノ統治權ト書イタナラバ明瞭デアアルノ
ニ、何故之ヲ御避ケニナタカ、是ハ本
案ノ技術上ニ於ケル缺陷タルヲ免レヌ
ノデアリマス、ソレカラ本法案ノ第七
條ニ「本法ハ何人ヲ問ハス本法施行區
域外ニ於テ罪ヲ犯シタル者ニ亦之ヲ適
用ス」ト云フコトガアル、是ハ恐ラクハ
刑法第二條ノ規則ヲ此所ヘ持ッテオキ
デニナッタニ相違ナイ、即チ外國ニ於テ
外國人ガ犯シタ罪デモ、日本カラ見テ

之ヲ犯罪ダト云フ、サウ云フモノヲ罰
シ得ルヤ否ヤト云フコトハ何デ決メル
カト云フト、國際公法ノ規則デアアルガ、
今日ノ國際公法デ斯ノ如キモノヲ犯罪
トスルコトハ許シテ居リマセヌ、國際
公法ハ成文法典ガアリマセヌ、アリマ
セヌガ、國際公法上ノ「プリンシプル」
ト云フモノガ斯ノ如キモノニ及バヤ否
ヤハ甚ダ疑ハシイモノデアリマス、政
府ハ果シテ公法上ノ確信ヲ以テ之ヲ御
作リニナタカ、外國人ガ外國ニ於テ犯
シタルモノマデモ、ソレハ犯罪ダト言ッ
テ認メルトドウ云フコトニナルカト、
云フト、露西亞ノ國ニ第三「インターナ
シヨナル」ト云フモノガアル、是ハ世界
中ノ何レノ國モノ私有財産ヲ否認シ
テ、一般民ヲ幸福ニシヤウト云フコ
トヲ考ヘテヤッテ居ル、世界中ノ内ニハ
無論日本モ含ンデ居ル、英國ニハ「フエ
ビアン、ソサエチー」ト云フモノガアリ
マスガ、單リ英國ノミナラズ、之ヲ世界
中ニ及ボサウト云フ考デヤッテ居ル、ソ
レヲ遙ニ東洋ノ一角カラ之ヲ犯罪呼バ
リヲシテ居ル、若シ「ラッセル」ガ日本ニ
來タラドウシマス「ラッセル」ハ確ニ私
有財産ヲ否認シヤウト云フ主義ヲ持
チ、此協會ニ屬シテ居ル人デアアル、此人
モ呼ンダナラバ來ヌコトモアリマスマ
イ、來タナラバ世界中ノ私有財産ヲ否
認スル運動ヲヤラウトスルカモ知レナ
イ、ソレヲ御縛リニナリマスカ、外國ニ
於テ外國人ガ考ヘタ所ノモノヲ、日本

デ以テ無線電信デ犯罪ダト言ッタ所ガ、
洵ニ滑稽至極ナモノデアアル、國ノ制度
トシテ行ハレヌ法律ヲ作ッテ、ソレデ安
心シテ居ルト云フノハドウカ、ソレデ
國家ノ治安ヲ維持スルコトガ出來マス
カ、恐ラクハ露西亞カラ今度領事ガ來
マセウシ、又公使モ來マセウ、ソレニハ
家族モ付イテ來マセウ、治外法權ニナッ
テ居ル者ハ別デアアルガ、此人ミノ中ニ
第三「インターナシヨナル」ニ屬シテ居
ツタ者ガアルナラバドウスル、日本ニ
於テ其主義ヲ實行シタ、宣傳シタトス
レバ日本ノ治安ヲ害スルカラ、ソレヲ
犯罪トシナケレバナラヌ、曾テ數年前
ニ——數箇月前ニ其國體ニ屬シテ居ッ
ト云フコトデ、日本ニ來タ時分ニ首玉
ヲ捕ヘル、ソシナコトガ一體出來ル
モノデアアルカドウカ、ソレナドモ恐
ラクハ本心デナカラウト思ッテ居ル、
本心デナイコトガ法律ニ書イテア
ルカラ立法技術上ノ錯誤ト言ハナ
ケレバナラヌ、ソレカラシテモウ一ツ
驚キ入ッタコトハ、政府ノ方デハ陪審法
ト云フモノヲチャント御忘レニナッテ
居ル、是ハ在朝在野ノ法曹、死ナレマシ
タ原敬總理大臣ガ非常ナル希望ヲ以テ
作ラレタ法律デアリマス、來ル大正十
七年カラ之ヲ實行スルト云フコトデ、
司法省ハ巨額ノ費用ヲ投ジテ其準備ニ
汲々トシテ居ラレマス、此長期十年、而
モ我國ノ國體ニ關スル犯罪ヲ規定スル
ニ當ッテ是ト牽聯スル陪審法ヲ眼中ニ

置カナカッタト云フコトハ、洵ニ驚入ッ
タコトデアリマス、陪審法ノ第四條ニ
ハ「左ニ掲グル罪ニ該ル事件ハ前二條
ノ規定ニ拘ラズ之ヲ陪審ノ評議ニ付セ
ズ一、大審院ノ特別權限ニ屬スル罪二、
刑法第二編第一章乃至第四章及第八章
ノ罪三、軍機保護法、陸軍刑法又ハ海軍
刑法ノ罪其ノ他軍機ニ關シタル罪
四、法令ニ依リテ行フ公選ニ關シ犯シ
タル罪」本案ノ國體ヲ變革スル爲ノ結
社犯ト云フモノハ、實ハ刑法第二編第
二章内亂ニ關スル罪ト同シ性質デアリ
マス、尤モ合法手段ニ依ル場合ハ別デ
アルケレドモ、不法手段ニ依ッテ國體ヲ
變革スル結社、即チ一ツノ陰謀デアリ
マスルガ故ニ、實以テ刑法第七十八條
ノ内亂ノ豫備陰謀ト同ジモノデアル、
然ルニ陪審法ヲ本件ノ中ニ考慮ヲ拂ハ
ナカッタノデアリマス、政府ハ陪審方面
ハ知ッテ居ッタケレドモ、此間答辯シナ
カッタト仰ヤッタケレドモ、中ミサウデ
ハナイ、知ッテ居ッテ即答サレスコトハ
ナイ、家デ子供ヲ騙スコトハ出來ルガ、
代議士ヲ騙スコトハ出來ナイ、取締犯
ダカラ請求陪審ニシタト云フガ、凡ソ
犯罪ヲ取締ラウト思ヘバ、取締犯罪ナ
ラバ寧ロ請求アリヤ否ヤニ拘ラズ、陪
審ニ附セズトスルガ相當デアラウ、若
シ間違ッタ取締ガアッタナラ其犠牲ニナ
レヨト言ッタ方ガ相當デアラウ、法律ヲ
以テ陪審ニ附シ又ハ陪審ニ附セズト決
メルノガ取締犯ノ性質デアアル、取締リ

ハ事案ノ狀情ト云フヨリモ寧ロ外形ニ
著眼スルト云フノガ取締犯ノ性質デア
ル、政府ハ取締犯デアアルカラ請求陪審
デイト言ハル、ガ、取締犯デアアルナ
ラバ、寧ロ其性質、其精神上法定陪審ト
スルカ、或ハ陪審ニ附セザルヤウニ劃
一ニ決メルコトガ取締犯ノ前提カラ出
テ來ル結論ニ相成ラナケレバナラス、
賢明ナル政府ガ私ノ質問ノ際ニ答ヘナ
カッタノハ、留保サレタモノト私拜察シ
得ナカッタ、如何ニシテモ斯ノ如キ大法
典ヲ御制定ナサルニ御注意ガナカッタ
コト、私ハ失禮ナガラ拜察スル、元來民
法ヤ或ハ行政裁判法ヲ改正シヤウト云
フ時ニ、法制審議會ニ掛ケテ居ル、中ミ
法制審議會ハ鄭重ニ審議シ、又辯護士
法ヲ改正スル時ニハ辯護士調査委員會
ニ附シテ、二年間モ審查ヲシタ、然ルニ
此刑法ヲ改正スルニドシナ機關ニ相談
ニ相成リマシタ、政府ハ此十年ノ刑ヲ
規定スルニ内務大臣ガ鉛筆ヲ執ッテ原
案ニ記シヲシテ立案サレタト云フコト
ハ洵ニ驚キ入ッタコトデアリマス、最近
新聞ニ發表サレタ案ト、十八日示サレ
タ案ト、唯、一夜ノ中ニ案ガ違ッテ居ッ
タハナイカ、其前ノ案ニ依ルト不法手
段ヲ以テ政體ヲ變改シ、國體ヲ變換シ、
若クハ不法手段ヲ以テ兵役、納税、私有
財産ノ制度ヲ變改スルトアッタ、私ハ新
聞ガ偽ヲ傳ヘタトハ決シテ信ジナイ、
政府ガ發表サレタノデアアル、一夜ニシ
テ内務大臣ノ鉛筆一本デ不法手段ヲ

削ッテシマッテ、兵役納税ヲ削ッテシマ
タノガ此案デアアル、十年ノ刑罰ヲ科ス
ル刑法ヲ作ルニ内務大臣ノ鉛筆一本デ
作ルコトガ輕卒デナクシテ何デアアル
カ、辯護士法改正、行政裁判法ヲ改正ス
ルニ調査會ヲ設ケ金ヲ使フ、些々タル
法律ノ改正ニマデモ種々ナル機關ヲ經
テ居ラレマスニ、此案ノミガサウデナ
イト云フノハドウ云フ譯デアアルカ、幸
ニシテ、此委員會ハ委員ノ多クハ法律
家ガ多イノデアリマス、半分以上ハ辯
護士デアアル、是ガ勿怪ノ幸デアアル此委
員ガ居レバコソ政體ト云フ字ダケデモ
變更シタノデアアル、皆様ニ對シテハ政
府ハ御禮ヲ申サナケレバナラス、幸ニ
各派ハ法律家ヲ此委員會ニ集メラレタ
レバコソ、少シデモ修正ガ出來タガ、サ
ウデナカッタナラバ、内務大臣ノ鉛筆一
本デ作ッタ原案ニ何等修正ナク通ッテ、
日本臣民ハ危險千萬、一髮ヲ以テ千金
ヲ釣ルト云フノハ即チ是デアアル、是ガ
即チ政府ガ陪審法案トノ關係ニ就テ何
等考慮セザリシ缺陷アリト云フ第四點
デアリマス、本法ノ刑ノ重イノニハ私
驚キ入ッタノデアリマス、私ハ質問ノ際
ニモ一言論及シテ置キマシタガ、何故
之二十年ノ刑罰ヲ以テスルカ、解シ難
イノデアリマス、先年床次内務大臣ノ
責任ヲ以テ御出シニナッタ過激社會運
動取締法案ガ、結社ニ付テ十年ト云フ
ノヲ、ソレヲ貴族院ニ於テハ三年ニ限
縮サレテ居ル、貴族院ノ性質ヲ言フノ

ハ失禮デアリマスガ、兎ニ角貴族院ハ
保守的デアアル、ソレデサヘモ三年ニ削
減シタ、床次内務大臣ハソレニ同意サ
レタノデアアル、ソレヲ又十年トサレル
ト云フコトハ如何ナル譯デアアルカ、外
國ノ立法ヲ見マシテモ、獨逸ノ革命鎮壓
法ハ五年デアリマス、彼ノ國デモ五年ヲ
以テ長期ト致シテ居ル、「ビスマーク」ノ
作ッタ、社會黨鎮壓法ハ幾ラカト云ヘバ、
是亦一年デアリマス、獨リ我國ノミ同質
ノ犯罪ニ付テ十年ノ刑ヲ以テ望ムト云
フコトハドウ云フ譯カ、是ハ物ハ程度ノ
問題デアリマスケレドモ、程度ヲ超ヘ
ルト性質ノ問題ニナッテ來ル、協議煽動
ト云フコトハアリマスガ、新聞紙法ヲ
見ルト云フト、朝憲案亂ノ罪ヲ犯シタ
者ハ最小限二年デアリマス、此間小川
司法大臣ノ御答辯ニ依ルト、二年ノ刑
ヲ受ケタ者ハナイノデアリマス、大抵
罰金刑デ濟ンデ居リマス、アノ法律デ
モ二年ヲ長期ト致シテ居リマス、朝憲
案亂ト云フノト煽動ト云フ差ハ間一髮
ノ違ヒデアリマス、一方ノ法律ニ依レ
バ三年、ソレヲ一寸翻セバ忽チ七年ニ
ナルデアリマス、地獄ト極樂ノ境ト云
フ譯デアリマス、實際新聞紙法ノ方ハ
二年、此方ノハ一遍デ七年ニナルノデ
アリマス、國ノ制度ト云フモノハ一鎖
關聯シテ權衡ヲ得タモノデナケレバナ
ラス、此法律モ其來歴ヲ申シマスト、政
體ヲ變換シト云フコトヲ捉ヘテ——政
體ヲ變換シト云フコトヲ取ッテ來テ、ソ

レニ對シテ同ジ罪ノ有ル者ニ對シテ、新聞紙法ニ依レバ二年、本法ニ依ルト十年ニナツテ仕舞フト云フヤウニ、非常ニ其間ニ疑惑ガアルノデアリマス、一體刑ハ刑ナキニ歸スルトハ古イ言葉デアリマスケレドモ、刑ノ重イ事ニ依ッテ國ヲ治メヤウト云フコトハ總テ失敗シテ居リマス、支那デハ商鞅、歐羅巴ノ「マキヤベリ」ノ如ク、刑罰ト權力ヲ以テ國ヲ治メルト云フコトハ總テ失敗シテ居リマス、況ヤ思想問題ニ於テオヤ、事思想ニ關スル事ヲ刑罰ヲ重クシタカラソレデ宜シイ、取締ガ付クト云フコトハ飛ンデモナイ間違デアリマス、實際現實ニ申シマスト云フト、此治安警察法モ相當強イ刑デアリマス、秩序ヲ紊亂スル、秘密ノ結社ヲ組織シ又ハ秘密ノ結社ニ加入シタル者ハ六ヶ月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處ス」ト云フコトハ是ハ相當ニ強イ刑デアリマス、此治安警察法ヲ巧ニ使ヒ、良イ監視總監、良イ警務長ヲ巧ニ使ッテ、スベキモノスベカラザルモノヲ巧ニ篩ヒ分ケテ、總テノ政治ヲナサスルト云フコトガ宜シイト思ヒマス、要スルニ取締ヲ上手ニ巧ニ之ヲ使フト云フコトガ最も大切ナ事デアリマス、刑ガ重イバカリガ能デハアリマセヌ、今日ノ一年ノ刑ヲ以テ十分デアアル、唯、希フ所ハ之ヲ巧ニ使ヒ、過チナキノ一事デアリマス、ソレヲ刑サヘ重クスレバ宜シイト云フコトデアリマセウガ、假ニモ窮民ノ爲ニ

社會改革ヲ行ハウト云フ者ガ、ソコニ十年ト書イテアッタカラ社會革命ヲ止メルト云フヤウナ薄志弱行ノ者ハ一人モアリマセヌ、社會革命ヲ圖ラウトスル者ニハ、一年ト書イテアルモ、亦百年ト書イテアツテモソレハ同ジデアリマス、亞米利加ノ法律ヲ見マスト云フト、社會革命ヲ罰スルノニ百萬弗ノ罰金ト二十五五年ノ懲役ヲ科シタ法律ガアル、百萬弗ノ罰金ト二十五五年ノ懲役ガアラウトモ、ソナモノヲ重クシタカラト云ツテ効能ハナイノデアリマス、先年此法律案ガ出タ時二十年トシテアツタモノヲ八年トサレタ、ソレカラ十年ノ刑カラ三年ト云フヤウニ一遍ノ言葉デ同意セラレタコトガアルノデアリマス、當時世間デハ之ヲ夜店ノ商賈ダト評シタコトガアル、ソレト同ジニ此法案ハ練ッテゴザイマセヌ、十年以下ト書イテアルケレドモ貴族院ニ行ケバ五年若ハ三年ニ削ラレルニ相違ナイ、ソレデ政府ハ又宜シイト仰シヤルニ違ヒアリマセヌ、サウシテ再ヒ植木屋商賈ヲ爲サルト云フコトハ實ニ悲ムノデアリマリス、第五ハ本法ノ刑ハ重キニ失スルト云フコトデアリマス、第六ニ自首シタル者ハ——自ラ自狀シタル者ハ罪ヲ輕減スルコトヲ得、是ハ洵ニ結構ナ御考デアリマス、内亂罪トカ、或ハ騷擾罪トカ、一種ノ出來心デ附和雷同スルヤウナ犯罪ナラバ、一夜ハ附和雷同シテヤツテモ、一夜寢テ見ルト或ハ惡カッタト云フ

者ガアルカモ知レシヤウ云フ者ニハ勸辨シタルガ結構デアリマス、假リニモ併ナガラ社會革命ノ結社ニ投ジヤウト云フ者ハ、本當ノ薄志弱行ノ者デナケレバソナモノハ減多ニアリマセヌ、サウ云フヤウナ薄志弱行ノ——一身一家ヲ思ヒ、安樂ヲ希フ者ニハ是ハ出來ル仕事デハナイ、若シモ自首スルナラバ初カラ自首スル積リデ入ッタ者デアアル、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ監視廳ノ大好キナ「スパイ」デアリマス、一旦私有財産ノ制度ニ變更ヲ加ヘ、以テ我國ノ此窮民ヲ救ハント志シタル者ガ、中途ニシテ川崎警察局長ニ御託ヲスルト云フヤウナ事ハ減多ニアリマセヌ、御託ニ行クニハ始メカラ御託ニ行カウト云フヤウナ考デ入ッタ「スパイ」デアリマス、「スパイ」ヲ保護サル、爲ニ此自首者ニ對スル刑、減免ノ項ヲ置カル、ト云フコトハ如何ナルモノデアアルカ、政府ノ方デハ刑法ノ紊亂罪ノ方ニアルトカ騷擾罪ノ方ニアルト云フコトヲ仰シヤイマスガ、内亂罪騷擾罪ト云フモノハ御承知ノ通りニ心ナクシテソレニ附和雷同シタル者ニ寛典ヲ與ヘルト云フ經驗上カラ來タモノデアリマス、ソレト本件トハ事ガ違ヒマス、サウ云フヤウニ故意ニ寄セ集メタ掃キ溜デ法律ヲ作ルト云フコトハソレハ出來マセヌ、ソレハ女中根性ト云フモノデアリマス、色ミナ物ヲ掃キ溜カラ仰山ニ集メテ來テ法律ガ出來タト云フヤウナ、ソナモノ

ハアリマセヌ、斯ウ云フモノハ實施前ニ能ク判斷ヲナサナケレバ間違ガ生ズル、露西亞ノ革命ノ歴史ハ諸君御承知ノ通り、何ガ一番革命ノ志士ヲ憤慨サシタカト云フト、所謂「スパイ」政策デアリマス、專制政治下ノ專制ヨリモ、裁判所ノ有罪ノ判決ヨリモ、彼等ノ裏カラ使喚シタル所ノ此「スパイ」ト云フモノデアアル、御互ニ相談シテ友達ガ血ヲ啜ッテ相盟ッテ居リナガラ、イザ事ヲ爲サウト云フ時分ニ敵ニ通ズルト云フ、此「スパイ」ト云フモノハ非常ナ恨ヲ同志ニ買フガ故ニ、問題ハ益深刻ニナル、アノ露西亞ノ革命ガ起ッタ時分ニ、イザ兵器廠ニ行カウト云フ時ニ、「スパイ」ガ居ッテ兵器廠ニ行カウト云フコトヲ盛ニ煽動シタル爲ニ、本當ニ行ッテ取ッテ仕舞ッタノデアリマス、是ハ「スパイ」ノ怪我ノ功名ト云フモノデアリマス、ケレドモ「スパイ」政策ヲ執ラレルト云フコトハ、露西亞ノ誤ッタ政策ヲ今日日本デ行ハレルト云フコトニナリマス、ドウカ國家ヲ思ヒ、人類ヲ思フ誠意ガアルナラバ、此規則ヲ何卒思ヒ留マラレシコトヲ衷心ヨリ希望スルノデアリマス、自首減刑ト云フコトガアツテモ、但シ初カラ自首スル考デ入ッタ「スパイ」ハ此限リニ非スト云フ制限ヲ附ケラレルカ何カシナイト、自由自在ニ間牒ガ跋扈スルト云フコトニナッタナラバ、國家風教ノ上ニ於テモ甚ダ害ガアル、惡イ事デアアルカラ「スパイ」モ宜イ

ト思ヒマスガ、惡イ事ニ宜イ「スパイ」ハ善イ事ニモ叛逆スルカモ知レナイ、金吾秀秋ハ徳川ノ方デハ忠臣デアラウガ、豊臣ノ方デハ「スパイ」デアアル、惡イ事ニ叛逆スル者ハ善イ事ニモ叛逆スルカモ知レナイ、サウ云フ者ヲ賞讃スルヤウデハ日本ノ風教ハ保テナイ、一旦盟ツタ以上ハ俱ニ死ヌ、後悔シタナラバ自分デ切腹スレバ宜イ、之ヲ自首スル者ハ賞讃スルト云フヤウナコトデドウシテ日本ノ治安ヲ保テルカ、道德ガ保テルカ、矢張是ハ植木屋ノ職人根性ニ外ナラヌト私ハ考ヘルノデアリマス、ソレカラモウ一ツ滑稽至極デ私ノ噴出シタモノガアル、ソレハ未遂デアリマス、結社ノ未遂ト云フノハドウ云フコトデアアルカ、結社ト云フモノハ意思ノ表示デアアル、今何ミ團體ト云フ結社ヲシヨウト言ツタ一言ガ結社ノ時期デアアル、而シテ其時ニ於テ結社ハ終ッテ居ル、瞬間ヲ以テ成立シ、瞬間ヲ以テ終ル所ノ犯罪デアリマス、結社ハ意思ノ表示デアアル、政黨ノ組織、結社ノ組織ハ其綱領ノ可決ノ時ニ成立シ、其時ニ終ルノデアアル、未遂ト云フモノハ犯罪ニ著手シテ未ダ實行ヲ終ラザル際ニ發覺シタモノガ未遂デアアル、人殺ナレバ、刀ヲ振上ゲテ未ダ害セザル時ニ生ズルノガ未遂デアアル、未ダ命ヲ斷タザルニ發覺スルノガ未遂デアアル、結社ト云フモノハ意思表示ヲスルマデハ未遂デナイ、ソレマデハ準備デス、刑法ノ語デ言ヘ

バ豫備デス、イザ結社ヲシテシマウマデハ豫備デアアル、一旦結社ヲスレバ既ニ既遂トナルガ故ニ、結社ノ場合ニ未遂ト云フノハドウ云フ事ヲ云ハレルノデアアルカ、洵ニ驚キ入ッタ立法デアリマス、ソレナラバ吾ミノ考ヘテ居ル豫備、結社ノ宣傳物ナリ、或ハ結社ノ勸誘ヲ未遂トハ言ヘナイト思フ、ソレハ第二條ノ協議ト云フコトデアリマス、結社ト云フモノハ著手シテ直グ結了スルノデアリマスカラ、未遂ト云フコトハナイ、是モ刑法ノ中ニ本項ノ未遂罪ハ之ヲ罰スト云フ規定ガアル、之ヲ持ッテ來テオッ付ケマシタモノデアッテ、机上デハ書ケルガ、事物ノ實體トシテ結社ノ未遂ト云フモノハナイ、斯ウ云フ缺陷アル法律、一夜漬ノ重シノ利カヌ漬物ノヤウナモノヲ茲ニ御出シニナッテモ、吾ミハ之ヲ食ベルコトハ出來ナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、是ガ第七デアリマス、第八ハ煽動ノ一字デアリマスガ、此煽動ト云フコトモ我ガ日本ニハ定評アル語デ、今更言フニ及バス、煽動ハ人ガ火ヲ拵エテ下カラ扇グ形デアアル、斯ウ云フヤウナ曖昧ナ字ヲ用ヒテ立法セラレマスガ故ニ、問題ニナッテ居ル、治安警察法ノ十七條ガ何デ惡イカト云フト、煽動ト云フ文字ガイケナイト云フノデアアル、故ニ吾ミハ之ヲ削除スルト云フノデアアル、煽動ノ文字ヲ教唆ニ變ヘヨウトスル、是ハ私ノ議員ニナッタ大正九年カラ今日迄、每議會吾ミノ屬スル革新俱樂部カラ之ヲ出シテ居ルノデアリマス、煽動デハ範圍ガ分ラナイト云フコトヲ法律家ガ申シテ居ル、文字デアリマスルガ故ニ、是ハ他ノ文字ニ變ヘラレルベキデアアルガ、何故ニ之ヲ變ヘラレナカッタノデアアルカ、是ハ既ニ言ヒ古シテ居ル事デアリマスカラ省略シマスガ、唯、第八條ニ煽動ト云フ文字ヲ御使ヒニハカッタノハ失敗デアアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、第九ニ協議デアリマス、協議モ是ハ本黨ノ方ガ一番賢イ、之ヲ勸誘ニ改メラレルコトハ洵ニ宜シイ、協議ト云フト二人デスルノデ、ヤラウト言ッテモイヤト言ッテモ協議ニナル、一寸待ッテ呉レ、明日返事スルト言ッテモ協議ニナル、協議ヲシタ方ハソレデ宜イト思ヒマスガ、協議ヲ受ケタ者ハ何デ罪ニナルカ、人カラ物ヲ言ハレ、バ直グ返事ノ仕惡イ場合モアル、追テ返事スルト言フ場合モアル、明日返事スルト言フ場合モアル、場合ニ依ッテハ反對デアッテモ面ト向ッテハ言ヒ惡イト、追テ家内ト相談シテ返事スルト言フコトモアルノデアリマス、ソレヲ協議ダト云フノデ茲ニ所罰サレルト云フコトハ驚キ入ッタコトデアアル、矢張是ハ本黨ノ勸誘ト云フ方ガ宜シイ、此位ノ事ハ分リサウナモノト思ヒマスガ、何故斯ウ云フ文字ヲ使ッテ立法ヲサレタノデアアルカ、是亦驚カザルヲ得ナイノデアリマス、第十八治安維持法ト

治安警察法トノ調和デアリマス、是ハドウナサルノデアアルカ、治安警察法デハ第八條ニ安寧秩序ヲ維持スル目的ヲ以テ内務大臣ハ結社ノ禁止ヲ爲スコトヲ得ト云フ規則ガアル、別ニ秘密結社ハ禁ズルト云フ規則ガアリマシテ、之ヲ承ケテ秘密結社ニ付テハ六箇月以上一年以下ノ懲役ヲ科シテ居リマス、安寧秩序ヲ害スル結社ト、團體ヲ變革シ、私有財産ヲ否認スル結社、是ハドウ云フ區別ニナリマスカ、一ツノモノガ、安寧秩序ヲ害スルコトニナリ、同時ニ又團體、私有財産ニ關係スルコトニナル、之ヲ一遍ニ御使ヒニナッテ重キニ從ッテヤラレルカ、或ハ檢察官ノ都合ニ依ッテ是非非常ニオトナシイ奴デアアルカラ安寧秩序デヤッテヤラウ、是ハ酷イ奴デアアルカラ治安維持法デヤッテヤラウト云フノデ起訴官ガ自由ニ爲サルノデアアルカ、起訴官ハ自由ニ爲サラナクテモ、裁判所ノ裁判官ハ刑法ノ總則ノ規定ニ依ッテ重キニ從フダラウト思ヒマス、是等ニ付テ深ク考慮ヲ拂ハレタ所ノ形跡ガナイノデアリマス、終リニ第十一デアリマス、是ハ既ニ十分ニ馬脚ヲ露シタト思ヒマスガ、刑法第三十五條ノ問題デアリマス、先刻モ申シタ通りニ、刑法第三十五條ニ「法令又ハ正當ノ業務ニ因リ爲シタル行爲ハ之ヲ罰セス」トアリマシテ、衆議院議員ハ上奏案ヲ提出スル權利ガアリ、法律案ヲ提出スル權利ガアル、團體ノ一事ニ對シテハ之

迄、每議會吾ミノ屬スル革新俱樂部カラ之ヲ出シテ居ルノデアリマス、煽動デハ範圍ガ分ラナイト云フコトヲ法律家ガ申シテ居ル、文字デアリマスルガ故ニ、是ハ他ノ文字ニ變ヘラレルベキデアアルガ、何故ニ之ヲ變ヘラレナカッタノデアアルカ、是ハ既ニ言ヒ古シテ居ル事デアリマスカラ省略シマスガ、唯、第八條ニ煽動ト云フ文字ヲ御使ヒニハカッタノハ失敗デアアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、第九ニ協議デアリマス、協議モ是ハ本黨ノ方ガ一番賢イ、之ヲ勸誘ニ改メラレルコトハ洵ニ宜シイ、協議ト云フト二人デスルノデ、ヤラウト言ッテモイヤト言ッテモ協議ニナル、一寸待ッテ呉レ、明日返事スルト言ッテモ協議ニナル、協議ヲシタ方ハソレデ宜イト思ヒマスガ、協議ヲ受ケタ者ハ何デ罪ニナルカ、人カラ物ヲ言ハレ、バ直グ返事ノ仕惡イ場合モアル、追テ返事スルト言フ場合モアル、明日返事スルト言フ場合モアル、場合ニ依ッテハ反對デアッテモ面ト向ッテハ言ヒ惡イト、追テ家内ト相談シテ返事スルト言フコトモアルノデアリマス、ソレヲ協議ダト云フノデ茲ニ所罰サレルト云フコトハ驚キ入ッタコトデアアル、矢張是ハ本黨ノ勸誘ト云フ方ガ宜シイ、此位ノ事ハ分リサウナモノト思ヒマスガ、何故斯ウ云フ文字ヲ使ッテ立法ヲサレタノデアアルカ、是亦驚カザルヲ得ナイノデアリマス、第十八治安維持法ト

ヲ慎ムトシテモ、私有財産否認ノ此上
奏案、此法律案ヲ提出スルコト云フコト
ハ吾々ノ正當ナル任務ナル、又之ヲ
シナケレバ代議士ノ任務ハ濟マヌ、然
ルニ上奏案ハ三十名ノ同志ヲ要シ、法
律案ハ同じク二十名ノ同志ヲ必要トス
ル、私有財産權ノ否認ノ法律案ヲ出サ
ントスルニハ、吾々ハ二十名ノ同志ト協
議ヲシナケレバナラヌ、場合ニ依ッテハ
政黨内デ以テ討論ヲシナケレバナラ
ヌ、内務大臣ノヤウニ鉛筆一本デ十年
モノ法律ヲ作ルヤウナハアリマセヌ
カラ、矢張モノ、一週間モ政黨本部デ
其案ノ可否ハ之ヲ練ラナケレバナラ
ヌ、協議ヲシナケレバナラヌ、之ヲ學者
ニ示シテ批評ヲ聽カナケレバナラヌ、
廣ク天下ニ其適否ヲ問ハナケレバナラ
ヌ、正當ノ業務ヲ執行スル爲ニサウシ
テ議會ニ吾々ガ私有財産制度否認ノ法
律案ヲ提出スル爲ニ、吾々ガ政黨ノ本
部ナリ、演說會ナリ、或ハ出版物ナリデ
以テ之ヲ世間ニ諮ルト云フ場合ニ、其
正當ノ行爲ヲスル場合ニ刑法第三十五
條デ有罪トサレルカ、無罪トサレルカ、
是ハ學說ノ岐レル所デ、政府デハ分ラ
ナイ、委員長ハ雅量ガアッテ一局長ノ言
フコトハドウデモ宜イデヤナイカト云
ハレタ、一局長ノ言フコト、云フノハ
一寸失敬ニ當リマスケレドモ、大臣デ
ナイト云フ意味デ、何モ山岡君ニ對シ
テ云フノデナイカラ、惡ク思ハレヌコ
トヲ希望致シマス、山岡君ハ大審院長

ニモナラレル人デアル、其人ガ刑法三
十五條ノ適用ガアルカナイカ御承知ナ
ラナカッタナラバ、吾々人民ガドウシテ
之ヲ知リマスカ、何時マデモ司法省ノ
腰辨當デ居ラレルヨリハ大審院長ニナ
リ、檢事總長ニナラル、コトヲ希望ス
ルケレドモ、其方サヘ議員ノ正當ノ業
務デアルカナイカ分ラヌ、刑法第三十
五條ノ規定ニ付テ全クソレハ學說ノ岐
レル所デ明言シ難イト仰シタル、ソレ
デハ此法律ノ實際ノ運用ハ出來ナイモ
ノト切言シマス、是ハ他人事デハアリ
マセヌ、私ノ事デアル、諸君ノ事デア
ル、諸君ガ私有財産否認ノ法律案ヲ
ドウシテモ産業民衆化ノ法典ニシナ
ケレバナラヌ、西洋ノ立法デ云フト勞
働黨ノ綱領ニ勞働法典ノ編纂、殊ニ勞
働者ノ基本的ノ權利確保ニ關スル立法
ノ完成、是ガ勞働黨ノ政綱デアル其法
律ヲ作ル際ニ政黨ノ本部デ協議シテハ
惡イカ、或ハ世間ニ公表シテハ惡イカ、
演說會デ演說ヲシテハ惡イカ、珍分漢
分分ラヌ、山岡刑事局長ニ聞イテモ學
說ガ岐レテ居ルト仰シタル、吾々自身
他人事デハナイ、薩張分ラヌ、私モ立法
機關ニ五六年參與シテ居リマスケレド
モ、コンナ法律ハ今ガ始メテデアリマ
ス
○熊谷政府委員 好イ加減ナ事ヲ言ヒ
給ウナ
○清瀨委員 默ッテ御聽ナサイ、結論ヲ
言ハナケレバ分ラヌ、聽クノハアナタ

方ノ役目デアル
○熊谷政府委員 ソンナ餘計ナ事ヲ言
ウナ
○前田委員長 私語ヲ禁ジマス
○清瀨委員 是ガ即チ正當ノ業務ヲ執
行シテ居ルノデス、刑法第三十五條ノ
規定ニ依ル吾々ノ業務ノ執行デアル、
終リニ臨ンデ私ハ結ビマスガ、國家ノ
權力ト個人ノ思想ト云フモノ、衝突ハ
實ハ古キ問題、「ソクラテス」ハ希臘ノ
青年ヲ毒スルト云ッテ刑ニ處セラレ、
「イエスキリスト」ハ「猶太」ノ國教ヲ否
認スルト云ッテ同じク十字架上ノ露ト
消エタ、「ルーテル」ガリレオ「總テ皆
是レナリ、個人ノ思想ノ自由ハ是レ即
チ古キ問題デアッテ、之ヲ如何ニ處分ス
ベキカト云フコトヲ考ヘタノガ即チ佛
蘭西革命ノ動機トナッテ、「ルネッサン
ス」トナッタノデアル、サウシテ人權ヲ
尊重シテ漸ク集會結社言論ノ自由ヲ尊
重シ、十九世紀ノ初メ各國ハ憲法ヲ作
リ、我國憲法ノ第二條トナッテ居ル、是
デ問題ハ一旦解決シタケレドモ、倍テ、
再ビ十九世紀ノ末葉カラ産業的極端主
義ト申シマスルカ、「インダストリアル
ル、ラヂカル」、是ガ起ッテ爲ニ茲ニ再ビ
個人ノ思想ノ自由、社會ノ改造ト云フ
モノト、國家ノ權力ト云フモノ、間ニ
衝突ガ起ッテ、是ガ實ハ日本ダケデハナ
イ、世界各國今ヤ新タニ歴史ハ繰返シ
テ再ビ個人ノ思想ノ自由、活動ノ自由
ト國家ノ爭ガ再ビ起ッテ居ル、ソレデ之

ニ處スルノニドウ云フ事ヲ各國ノ政治
家ガ執ッタカト云ヘバ、其政策ハ凡ソ三
通りアル、一ハ絶對的ノ禁壓主義デア
ル、露西亞ノ古キ政治家ガ執ッタノハ是
レ、二ハ禁壓及社會政策ヲ併セテ行フ、
恩威並ビ行フ、「ビスマルク」ノ政策ガ
是レ、一方ニ社會政策ヲ實行スルガ、一
方ニハ禁壓ヲスル、第三ハ自由政策デ
アッテ、英吉利ノ傳統的政策ハ是デアリ
マス、我國ガ今マデ執ッテ居ラレタ事ハ
斯ノ如キ主義ヲ中心トシテサレタモノ
デアリマセヌカ、大體カラ申スト矢張
一方ニ於テ治安規則ノ方デ禁壓シ、他
方デ社會政策ヲヤラウト云フノデア
カラ、第二ノモノデアアル、「ビスマルク」
ノ言葉デハ善政主義ト稱スルノデア
ル、吾々ハ熊谷君、小川君ト共ニ護憲運
動ヲ起シテ、普通選舉ノ實行、貴族院改
革デ日本ヲ新タナル好キ光線ノ下ニ發
育セシメヤウト云フ信念ハ同じデア
ル、唯、思想ガ行違ヒマシテ今衝突ヲ來
シタ、麓ノ道ハ異ナレドモ向ハント欲
スル山ノ頂上ハ一デアアル、此國民ニ自
由ヲ與ヘ、好イ光線ニ浴セシメテ、國民
ヲ立派ニ仕立上ゲヤウト云フノデアリ
マス、ソレヲヤルノニハ「ビスマルク」
ノ沈壓政策ト、社會政策ノ併用主義ト
云フヨリモ、自由主義ニシナケレバナ
ラヌ、私共ハ斯ウ考ヘテ居ル、所ガ社會
政策ト云フモノハ今日マダ少シモ行ハ
レテ居ラヌ、既ニ通過シタ所ノ工場施

行法モ實施サレナイ、健康保險法モ行ハレナイ、最低年齡法モ其儘デアル、尙ホ又積年ノ問題デアル所ノ勞働組合モ其通りデアル、爭議調停法ハ内容ヲ承リマス却テ壓迫法トナル、斯様ナコトニ相成リマスガ故ニ、一方ニハ世間ニ多少此護憲内閣ニ對シテ失望ノ色サヘ見エテ居ル、私モ其一人デアルノデ、之ヲ憂ヘテ居リマス、ソレヲ其儘持ッテ行ッたらドウナルカ、治安維持法ヲ禁壓スルバカリデ、第二ノ「ビスマルク」デナク、逆ニ戻ッテ露西亞ノ「ブレベール」、アノ沈壓主義ニ戻ルト思ヒマス、私ハ反對黨ナラ之ヲ攻撃致シマスガ、私モ諸君ノ同僚デアルガ故ニ之ヲ悲ム、心中ヨリ之ヲ遺憾ト思ヒマス、ドウカ世間ノ誤解ヲ避ケテ、勿論男子トシテ一度出シタ以上之ヲ撤回致シマスマイ、アナタ方ノ衷情モ察スル、小川君若槻君ノ心事モ深ク察シマス、ケレドモ是ハ一人ノ私情デアル、一人ヤ二人ノ私情ヲ立テル爲ニ天下ノ人民ノ此民權ヲ如何ニスベキカ、私ハ此意味ニ於テドウカ翻ッテ之ヲ阻止シテ、世間ノ誤解ハ誤解デアル、全ク吾々ノ精神ハ斯ウデアル、ケレドモ樞密院ノ者共ガ之ヲ出サヌト云フト普選案ヲ通過サセヌト吐カスカラ、已ムヲ得ズ之ヲ出スノデアルト云フ大ナル辯解ノ聲明ヲ發表サレテ、私並ニアナタ方ハ相共ニ再ビ手ヲ握ッテ日本ノ社會改造ノ道ニ出シコトヲ切望致シマス

○原委員 午前來清瀨君ノ博辯宏辭ニ依ッテ吾々ハ謹聽致シタノデアリマス、是ハ獨リ吾々ダケデナク、政府當局モ極メテ謹聽致シテ居タノデアリマス、色承ハルト洵ニ尤ナ點數モアル、吾ハ先ニ修正案ヲ出シマシテ、政府ノ此法案ニ對シテ多大ノ同情ヲ以テ出來ル範圍ニ於テ修正ヲ致シタノデアリマス、所デ清瀨君ノ動議ニ係ル政府ガ本案ハ撤回スベキモノデアルト云フコトニ對シテハ、政府ハ如何ナル御所見デアリマセウカ、先ヅ此點ヲ伺ッテ置キマス、若シ御撤回ナサルト云フコトデアリマシタナラバ、極メテ簡單明瞭ニ本案ノ委員會ハ片附クノデアリマス、又第二ニ若シ何處迄モ之ヲ突張ルト云フコトデアリマシタナラバ、三派——三派ト言ッテハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、三派中ノ與黨ノ側カラ出テ居ル修正案ニ、政府ハ如何ナル御所見ヲ有セラレルノデアリマウカ、其程度ヲ伺ッテ置キタイ

○小川國務大臣 撤回セヨナド、怪シカラヌコトヲ仰シヤル、何デ撤回スルノデス、サウ云フコトハ十分ニ明ニナッテ居ルデアリマセヌカ、左様ナコトハ斷ジテ出來マセヌ、第二ニアナタ方ノ案ニハ不賛成デス

○熊谷政府委員 只今清瀨君ノ議論ヲ色々承ッテ見マスルト洵ニ清瀨君ハ社會政策ニ對シマシテ最も熱心ナ御研究ヲ遂ゲラレテ申サレタ、其結果ヲ承ッテ

見マス、非常ニ博識ニ敬服スルト共ニ、御言葉ニ對シマシテハ同僚トシテ甚ダ遺憾ナ點ガ澤山アルト思フ、甚ダ遺憾デアリマス、清瀨君ノ御論ジニナツツタ所ノ第一點、第二點、第三點ニ付キマシテハ政府ハ再三迄答辯ヲ重ネテ居リマスカラ、清瀨君ノ御所論ノ如キモノデナイト云フコトハ、委員會ノ速記録ヲ通ジテ天下ニ明ニシテ居ルノデアリマス、殊ニ第三ノ第一ヨリ十一迄ノ御議論ノ如キハ、平生吾々ハ清瀨君ヲ法學博士トシテ尊敬シテ居リマスケレドモ、今ノ御言葉ハ洵ニ法律知識ニ關シマシテ斯ウ云フ博士モアラウカト云フコトヲ思ッタノデアル、是ハ甚ダ遺憾デアリマス、而シテ其本旨ト云フモノハ殆ド法律ノ目的ヲ闕却セラレル所ノ一種ノ清瀨君ノ意見ヲ茲ニ述ベラレタ議論ニ過ギナイト考ヘマスカラ、之ニ對シテハ賛意ヲ表スルコトハ出來ナイノデアリマス

○小川國務大臣 先刻御答辯ヲ申上ゲタ點ニ付テ聽キ違ヒガアッタノデアリマス、政府ハ三派ノ修正案ニ賛成スルカト云フ趣意デアッタト云フコトヲ今委員長カラ注意サレマシタ、三派カラ出テ修正案ニ付キマシテハ、是ガ若シ決議ニナリマシタ場合ニハ、多數ノ諸君ノ御意見デモアリマスカラ、尊重致シテ、其場合ニ於テハ同意シヨウカト考ヘテ居リマス

○原委員 先程ノ第一次ノ御答辯ト云

フモノハ大層激サレテ叱リ附ケタヤウナ御言葉デアリマシテ、洵ニ恐レ入ッタノデアリマスガ、ソコデ一ツ議院政治ノ協調政治デスカラ、モウ少シ冷靜ニ御願シタイ、今度ハ一ツ聽キ違ヒノナイヤウニ明ニ申シテ置キマスガ、撤回スルト云フコトハモウ是ハシナイト云フコトハ分ッタノデスガ、撤回ト云フコトデアリマスガ、サウ云フコトモ手段モアルノデス、政府ハ常ニ色々樞密院ノ方ト協調ヲ保ッテハ、修正ニ遭ヘバ直グ撤回シテ更ニ又御出シニナル譯デス、ソコデ私ハ伺ヒタイノデスガ、其點ハ了承致シマシタ、次ノ御聽キ違ヒシ多數デ本議會ヲ通過シタ場合ニ於テハ、之ニ賛成スルト云フ條件附ノ御答辯デアリマシタガ、之ニ御同意ナサルト云フコトハドウ云フ點デ御同意ナサルノデアリマセウカ、其理由ガ説明ガ出來レバソレヲ伺ッテ置キタイ、何トナレバ此吾々ガ修正案ヲ出シテ、居ルノト共通點ガアリマスカラ、吾々ノ賛成ノ理由ニ大變參考ニナル、デ此無政府主義、共產主義ヲ取締ル所ノ法案ト云フコトカラ割出シテ、政體ト云フ文字ヲ取ッタナラバ政府ハ之ニ對シテ提案ノ理由ガ貫徹スルト云フ御考カドウカ、其御所見ヲ伺ッテ置キマス

○小川國務大臣 冷靜ニヤルト云フコトハ大賛成デアリマスカラ、御互獨リ冷靜ノミナラズ、一ツ御互ニ眞面目ニ

午後三時十二分開會

ヤリタイト思フノデス、餘リ撤回スル
トカ何ト云フヤウナコトヲ仰シヤル
コトハ甚ダ困リマス、ソレデ私ハ少シ
激シタカモ知レマセヌ、ソレカラ將來
ノ場合デアリマスガ、三派ノ諸君ヨリ

スケレドモ、第一條中ニ於テモ異ッテ居
ルノデアリマスカラ、横山案ト中村案
トヲ別ナモノトシテ採決スルコトニ御
異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

御提出ニナッタ修正デアリマスカラ多
數派ノ意思デアリマス、ソレヲ豫想シ
テノ御尋ト思ヒマスカラ、サウナリマ
シタ場合ニハ多數ノ御意見デアルカラ
尊重スル考デアルケレドモ、併シサウ
云フ細カイコトヲ今此處ニ申上ゲルコ
トハ甚ダ困難デアリマスカラ、其場合

○前田委員長 サウ致シマス中村案
ヲ採リマシテ、次デ横山案ヲ採リマシ
テ、サウシテ以外ノ法案ヲ採ルト、斯ウ
云フ順序ニ採決致シマス、清瀬君ノ御
說ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者 起立〕

ニ御尋ニナレバ十分ニ申上ゲマス
○原委員 是ハ細カイ點デアリマセ
ヌ、ソレハ最も重要ナ點デアリマスカ
ラ、細カイ所デナク大々的ナモノトシ
テ一ツ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス
ガ、併シソレハ御困リニナルアレバ
敢テ是以上ハ申上ゲマセヌ

○前田委員長 少數デアリマス、次デ
中村君ノ修正案ニ御賛成ノ諸君ノ起立
ヲ求メマス

〔賛成者 起立〕

○前田委員長 ソレデハ是デ討論ノ通
告モアリマセヌ、討論終結致シマシタ、
採決ニ移リマス、採決スル前ニ皆様ニ
申上ゲタイコトガアリマス、採決ノ順
序デアリマスガ、先ヅ第一ニ本案ニ一
番遠イ——遠イト云フ言葉ハ何デアリ
マスガ、清瀬君ノ廢案說ガ出テ居リマ
ス、ソレカラ中村案ト横山案ト云フモ
ノガ出テ居リマスガ、斯ウ云フ順ニ採
決致サウト思フノデアリマス、清瀬君
ノ撤退案ヲ決ヲ採リマシテ、次ニ中村
案ト横山案トノ中デ「若ハ政體」ト云フ
字ハ同ジコトニナッテ居ルノデアリマ

○前田委員長 少數デアリマス、横山
君ノ修正案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メ
マス

〔賛成者 起立〕

○前田委員長 多數デアリマス、只今
マデノ内ニ於キマシテ清瀬君ノ案ハ少
數否決ニナリマシタ、中村君ノ案モ同
ジク少數否決ニナリマシタ、横山君ノ案
ハ多數成立デアリマス、此成立可決致
シマシタ案ノ即チ本案ヲ一括シテ議題
ニ供シマス、賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メ
マス

○前田委員長 多數デアリマス、仍テ
本案ハ可法セラレマシタ、最後ニ積日
ノ皆様方ノ御勞苦ニ對シマシテ感謝致
シマス（拍手起ル）之ニテ閉會致シマス

〔賛成者 起立〕

第五類第十八號 治安維持法案（政府提出）委員會會議錄 第七回 大正十四年三月六日

大正十四年三月七日印刷

大正十四年三月八日發行

衆議院事務局

印刷者

民友社